

防災に関する調査報告書

令和2年11月
岩倉市

【目 次】

第1章 調査の概要

- 1. 調査の目的..... 3
- 2. 調査の方法..... 3
- 3. 回収結果..... 3
- 4. 本報告書の見方について..... 3

第2章 結果の概要

- 1. 強靱な地域をつくるための方策について..... 7
- 2. 災害や災害時の行動について..... 8
- 3. 災害に関する情報のあり方について..... 8

第3章 調査結果

- 1. 回答者の属性..... 13
- 2. 強靱な地域をつくるための方策について..... 18
- 3. 災害や災害時の行動について..... 25
- 4. 災害に関する情報のあり方について..... 29

第4章 資料

- アンケート調査票..... 41

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

岩倉市では、どんな自然災害が起こっても致命的な被害を負わない強さと、速やかに回復するしなやかさをもつために、「岩倉市地域強靱化計画」を策定します。

計画の策定にあたり、市民の皆様の防災に対する意識や考え方をうかがい、市の防災施策の貴重な資料とさせていただくため、このアンケートを実施しました。

2. 調査の方法

調査地域	岩倉市全域
調査対象	18歳以上の方（令和2年9月1日現在）
抽出法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	令和2年9月17日（木）～ 令和2年9月30日（水）

3. 回収結果

配布数	2,000票
回収数	1,070票
有効回収数	1,070票
有効回収率	53.5%

4. 本報告書の見方について

- (1) 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。したがって合計が100.0%を上下する場合があります。
- (2) 基数となるべき実数（回収者数）は、“全体（n=〇〇）”として掲載し、各比率は回答者数を100.0%として算出しました。なお、「n」はnumber of caseの略であり、設問の回答数です。
- (3) 1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (5) 「 」は1つの選択肢を、『 』は複数の選択肢を合わせた表現を示しています。〈 〉は調査項目を表します。

第2章 結果の概要

1. 強靱な地域をつくるための方策について

「国土強靱化」の認知度では、「内容を知っている」は 5.4%に留まっています。認知度が低いため、今回の「岩倉市地域強靱化計画」策定後には、市民に対し、わかりやすく内容を伝える必要があるといえます。

当地域の安全度では、「安全」と「ある程度安全」を合わせた『安全だと感じる』は 51.2%、「多少危険」と「危険」を合わせた『危険だと感じる』は 20.7%となっています。

属性別にみると、年齢別では『安全だと感じる』は、年齢が上がるほど高くなる傾向があり、60 歳代以上では 57.2%となっています。一方、10～30 代は 45.6%に留まっています。

居住形態別では『安全だと感じる』は、共同住宅（木造）が最も低く 41.2%となっています。

若年層・中年層や、共同住宅（木造）に居住の方が安心・安全を感じるような施策立案や、情報提供等が特に必要であると読み取れます。

なお、「岩倉市地域強靱化計画」の策定効果指標としては、本指標の向上を目指すべきであると考えられます。

脅威に感じる災害では、「地震・津波」や「豪雨・台風（洪水・高潮等）」が約 9 割となっており、この 2 つの災害に回答が集中しています。一方、その他の災害はほとんど回答がみられず、災害リスクとして認知されていないといえます。

大規模災害に事前に備える目標として優先度が高い目標では、「災害発生後であっても、生活・事業活動に必要最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること」、「災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られること」、「災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われること」の 3 項目が約 6 割となっています。

事前の備えとして、人命が保護できるような目標の優先度が高いことは当然といえますが、それ以外にインフラの早期復旧が重視されていることが読み取れます。

大規模災害に対する対策では、「必要な物資の供給の迅速化」や「食料等の供給の確保」の 2 項目が 4 割超と高くなっています。

大規模自然災害等により途絶した場合、影響が大きいと思う主要な交通では、「県道 63 号名古屋江南線（名草線）」と「名鉄犬山線」の 2 項目が 6 割超と高くなっています。

小学校区別では、五条川小学校区で「国道 155 号」が最も高くなっています。

大規模自然災害により機能不全となった場合、影響が大きいものでは、「電気」と「上水道」の 2 項目が 7 割超と高くなっています。近年、避難所等で「携帯電話・スマートフォン」を充電できるようにしてほしいという要望が多くみられる傾向にありますが、本アンケートでは「携帯電話・スマートフォン」は約 2 割に留まりました。ただし、属性別にみると、年代が低いほど「携帯電話・スマートフォン」の回答割合は高くなっており、10～30 歳代では約 3 割（27.6%）となっています。

2. 災害や災害時の行動について

当地域が南海トラフ巨大地震の防災対策推進地域に含まれていることについては、半数超（54.3%）が「知っている」と回答しています。

属性別にみると、家族構成別では、ひとり暮らしの方で「知っている」が46.0%とやや低くなっています。ひとり暮らし層にもスムーズな情報提供を行えるようにできる仕組みづくりが求められていると考えられます（本項目に限らずですが、今後ひとり暮らし高齢者等も増加することを考えると、ひとり暮らしの方に対する情報提供の方法には工夫が必要です）。

今までに自主的に避難したことがあるかでは、「（避難したことが）ない」が96.5%と非常に高くなっています。また、この理由では、「被害に遭うと思わなかった・被害にあったことがないから」や「自宅にいたのが安全と判断したから」との回答割合が高くなっています。

自己判断で避難をしないことを決めている方がいるため、少なくとも、避難指示・勧告等のルールの周知はしておきたいところです。また、緊急時に混乱なく避難できるように避難訓練等が必要であるといえます。

大地震が発生した場合に心配することでは、「電気、水道、ガスの供給停止」最も高く、「食料・飲料水、燃料、日用品等の確保が困難になること」、「建物の倒壊・損壊」、「火災の発生」が続いています。なお、「心配なことはない」との回答はほとんどみられず、何かしらの不安を抱えていることが読み取れます。

3. 災害に関する情報のあり方について

災害情報の入手先では、「テレビ」が84.5%と最も高く、「スマートフォンの防災情報に関するアプリ」が41.7%と続いています。

年齢別にみると、「テレビ」は全年代が活用していますが、「スマートフォンの防災情報に関するアプリ」は60歳代以上で回答割合が低くなっています。また、10～30歳代では「ツイッター、フェイスブック等のSNS」（37.2%）、60歳代以上では「ラジオ」（40.7%）の割合も高くなっています。情報の入手先が多様化していることが読み取れます。

災害時に欲しい情報では、「電気・水道等のライフラインの情報」が93.0%と最も高く、「医療機関の情報」が46.0%、「道路交通等の情報や今後の復旧見通し」、「損壊した家屋、生活に関する支援（各種制度の案内や適用など）」、「スーパーマーケット等の営業情報（商品の入荷情報を含む）」がそれぞれ3割超となっています。スーパーマーケット等の営業情報にも約3割の回答が集まっている点が特徴的です。

居住地域のハザードマップの認知度では、「見たことがあり、内容も知っている」が22.1%、「見たことはあるが、内容はよく分からない」が36.3%となっています。「見たことはあるが、内容はよく分から

ない」との回答が多いことから、動画などを活用して内容を分かりやすく解説するなど、説明の機会があれば良いと考えられます。

災害に備えて準備している食料・飲料水では、「飲料水」、「レトルト食品」、「缶詰」が5割超と高くなっています。備蓄への意識は高いことがうかがえます。

災害に備えて準備している防災グッズでは、「懐中電灯」、「携帯ラジオ」、「乾電池・充電電池（太陽光）」、「救急セット（マスク、消毒薬、ガーゼ、包帯、常備薬等）」が4割超となっています。一方、準備が不十分である防災グッズもみられるため、これらのものについては準備を周知するか、市で準備を充実させることが必要であると考えられます。

自宅以外の場所に避難しなければならない事態に備えた対策では、「特に何もしていない」が38.5%となっています。また、この割合は、年齢が低いほど高まる傾向にあり、10～30歳代では43.2%となっています。

災害ボランティア活動への参加経験では、「参加したことがある」が7.2%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が27.1%、「参加したことはない（参加の希望もない）」が63.9%となっています。

災害時には市職員の人手だけでは不十分であり、市民ボランティア等の協力が必要です。4人に1人が「参加したことはないが、機会があれば参加したい」と回答していることから、有効な社会資源として活用していきたいところです。

防災訓練への参加経験では、「参加したことがある」が46.0%、「訓練が行われていることは知っているが、参加したことはない」が30.2%、「訓練が行われていることを知らなかった」が23.0%となっています。

年齢別にみると、年齢が低くなるほど、参加経験が少なくなる傾向があります。

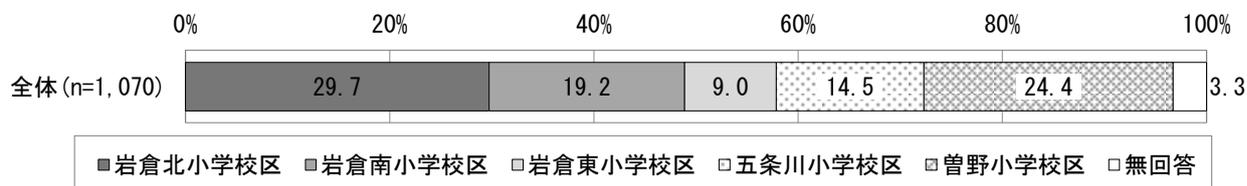
地域の安全度意識別では、当地域が安全と考えている方は、防災訓練への参加経験割合が高い傾向にあります。防災訓練に参加することで、実施に発災時の行動が明確になるだけでなく、日頃の“安全意識の向上”にも繋がることが読み取れます。

第3章 調査結果

1. 回答者の属性

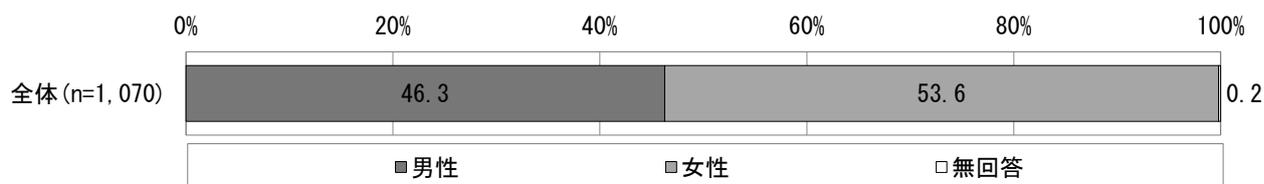
問1 お住まいの小学校区をお答えください。(1つに○)

「岩倉北小学校区」が29.7%、「岩倉南小学校区」が19.2%、「岩倉東小学校区」が9.0%、「五条川小学校区」が14.5%、「曾野小学校区」が24.4%となっています。



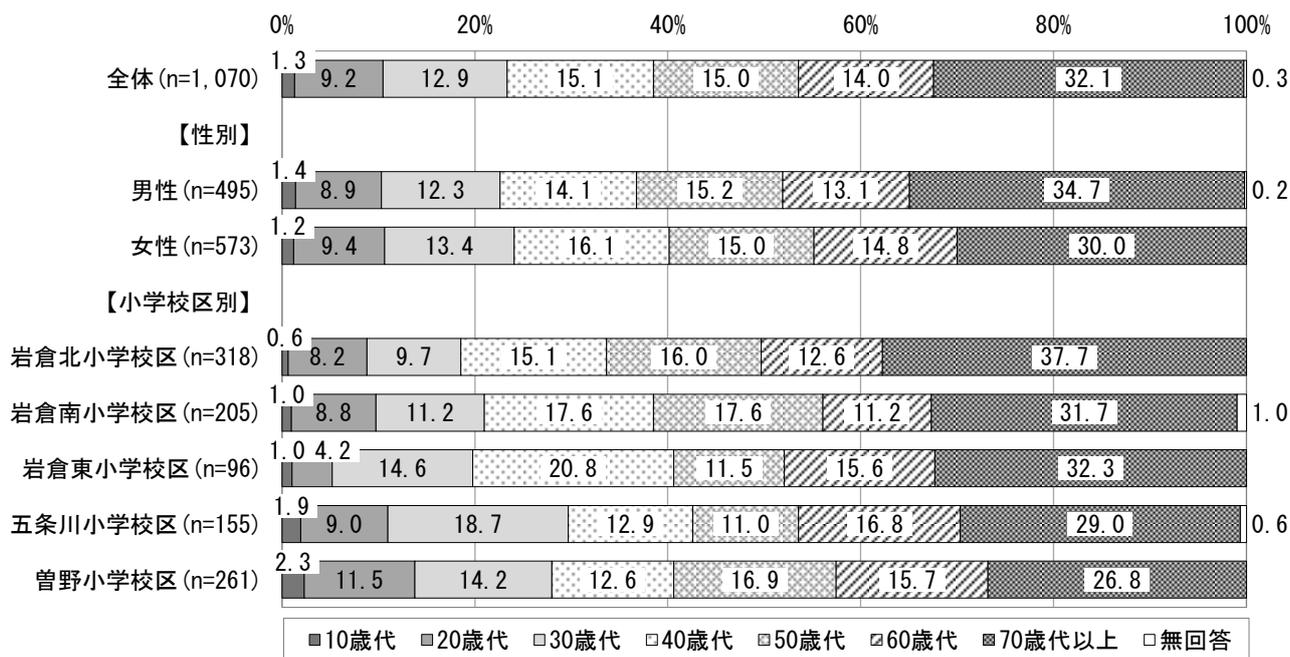
問2 性別をお答えください。(どちらかに○)

「男性」が46.3%、「女性」が53.6%となっています。



問3 年齢をお答えください。(令和2年9月1日現在の年齢で回答ください。)

全体では、「10歳代」が1.3%、「20歳代」が9.2%、「30歳代」が12.9%、「40歳代」が15.1%、「50歳代」が15.0%、「60歳代」が14.0%、「70歳代以上」が32.1%となっています。



問4 職業をお答えください。(1つに○)

全体では、「会社員、団体職員、公務員」が33.4%と最も高く、「パート・アルバイト」が15.6%、「家事専業」が11.6%、「自営業」が5.0%、「学生」が3.2%と続いています。また「無職」が28.6%となっています。

年齢別では、60歳代以上で「無職」が55.9%と最も高くなっています。

(%)	会社員、 団体職員、 公務員	パート・ アルバイト	家事専業	自営業	学生	農業	無職	その他	無回答
全体 (n=1,070)	33.4	15.6	11.6	5.0	3.2	1.4	28.6	1.0	0.3
【性別】									
男性 (n=495)	47.1	5.9	0.2	6.9	3.2	1.8	33.3	1.6	0.0
女性 (n=573)	21.6	24.1	21.3	3.3	3.1	1.0	24.4	0.5	0.5
【年齢別】									
10～30歳代 (n=250)	59.2	8.8	10.0	1.2	13.2	0.0	6.4	0.8	0.4
40～50歳代 (n=323)	51.1	28.8	9.9	5.9	0.0	0.0	4.0	0.3	0.0
60歳代以上 (n=494)	8.9	10.5	13.4	6.3	0.0	3.0	55.9	1.6	0.4
【小学校区別】									
岩倉北小学校区 (n=318)	32.1	12.6	11.6	6.9	2.5	1.3	32.1	0.9	0.0
岩倉南小学校区 (n=205)	31.7	18.5	11.2	4.4	1.0	3.9	27.3	1.0	1.0
岩倉東小学校区 (n=96)	34.4	19.8	9.4	2.1	0.0	0.0	33.3	0.0	1.0
五条川小学校区 (n=155)	32.3	14.2	14.2	2.6	7.1	0.6	27.1	1.9	0.0
曾野小学校区 (n=261)	37.2	14.9	11.5	5.7	4.6	0.8	24.1	1.1	0.0

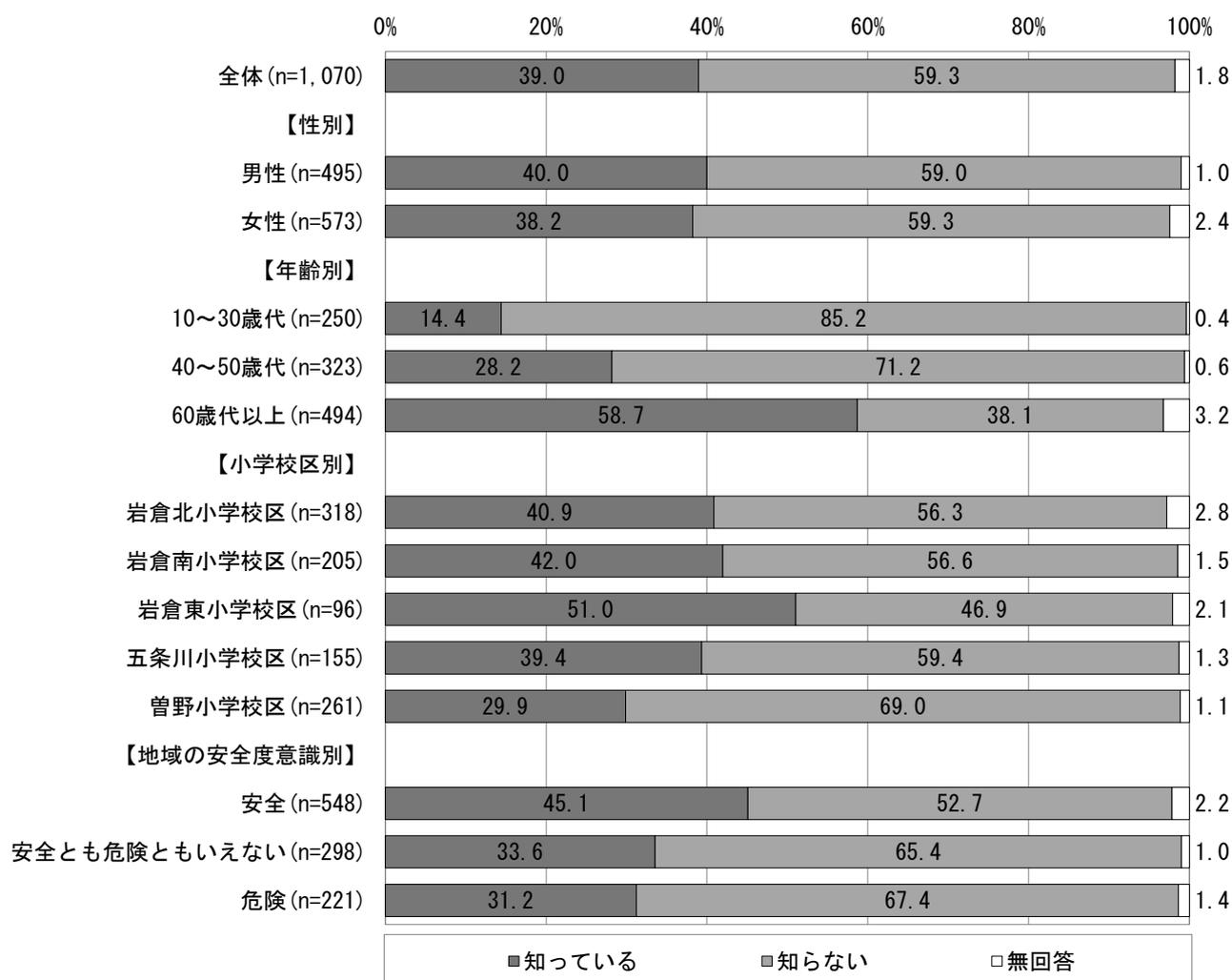
問5 お住まいの地域に自主防災会があることを知っていますか。(どちらかに○)

全体では、「知っている」が39.0%、「知らない」が59.3%となっています。

年齢別では「知っている」は、年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、60歳代以上で58.7%と半数を超えています。

小学校区別では、岩倉東小学校区で「知っている」が51.0%と高くなっています。

地域の安全度意識別では、安全と回答した人で「知っている」が45.1%と高くなっています。



※【地域の安全度意識別】は問9の回答を基に以下の通り定義している

- 安全 : 問9で「安全」・「やや安全」を選択
- どちらともいえない : 問9で「どちらともいえない」を選択
- 危険 : 問9で「危険」・「やや危険」を選択

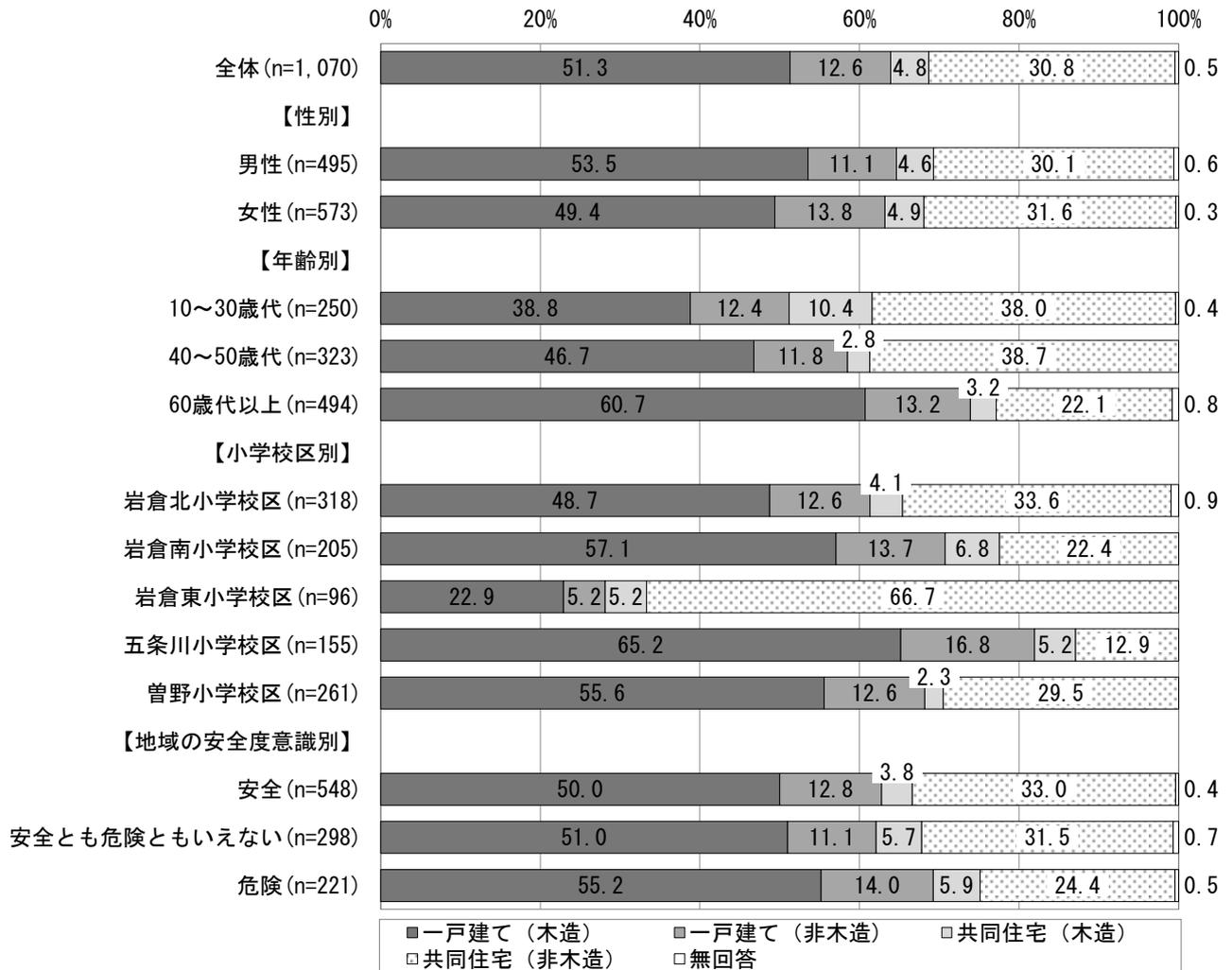
(以下同)

問6 あなたのお住まいは、次のように分類した場合どれでしょうか。(1つに○)

全体では、「一戸建て（木造）」が51.3%と最も高く、「共同住宅（非木造）」が30.8%、「一戸建て（非木造）」が12.6%、「共同住宅（木造）」が4.8%と続いています。

年齢別では、年齢が上がるほど「一戸建て（木造）」の割合が高くなる傾向にあります。

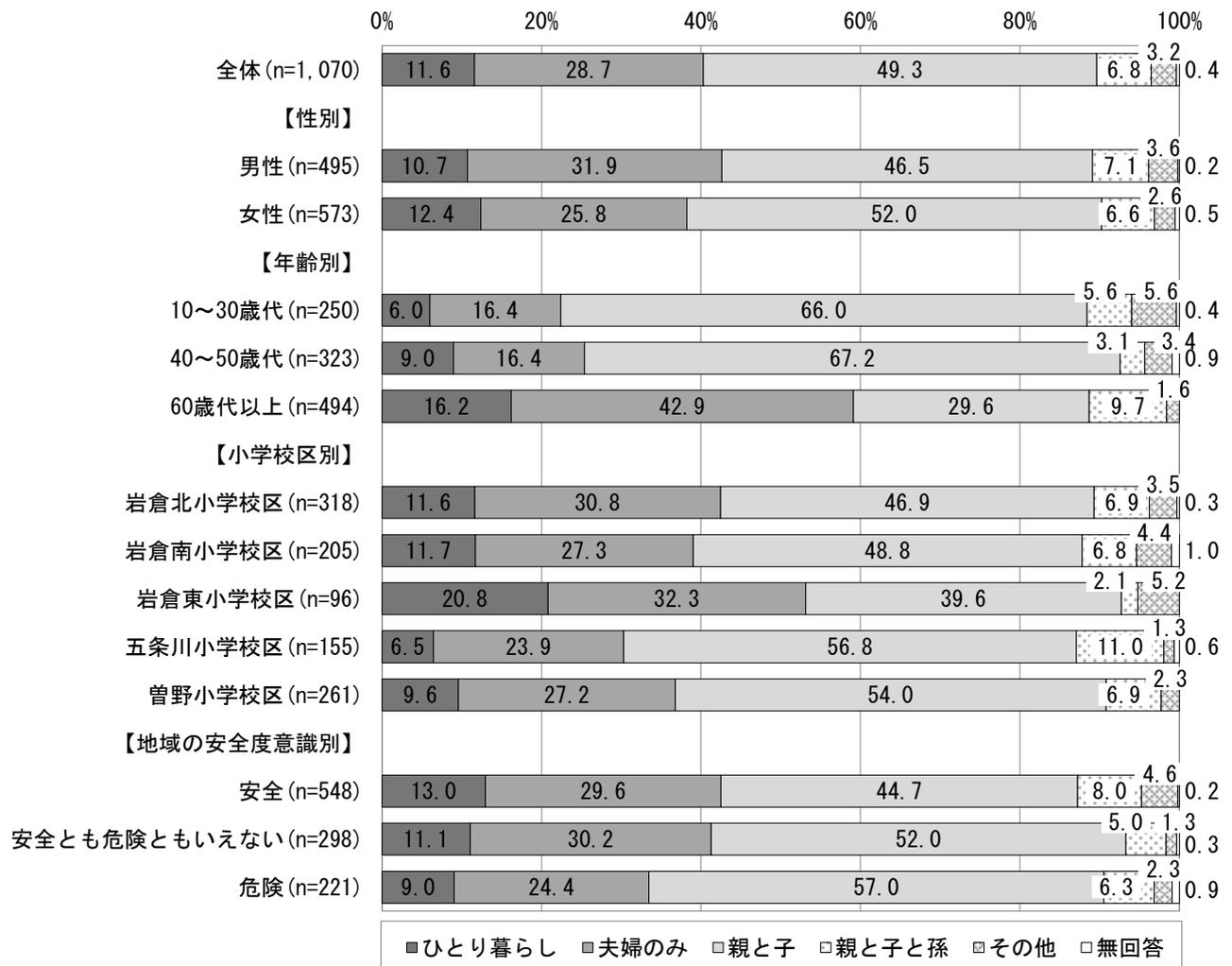
小学校区別では、岩倉東小学校区で「共同住宅（非木造）」が66.7%と最も高くなっています。



問7 あなたの（同居している）家族構成をお答えください。

全体では、「親と子」が49.3%と最も高く、「夫婦のみ」が28.7%、「ひとり暮らし」が11.6%、「親と子と孫」が6.8%と続いています。

年齢別では、60歳代以上で「夫婦のみ」が42.9%と最も高くなっています。



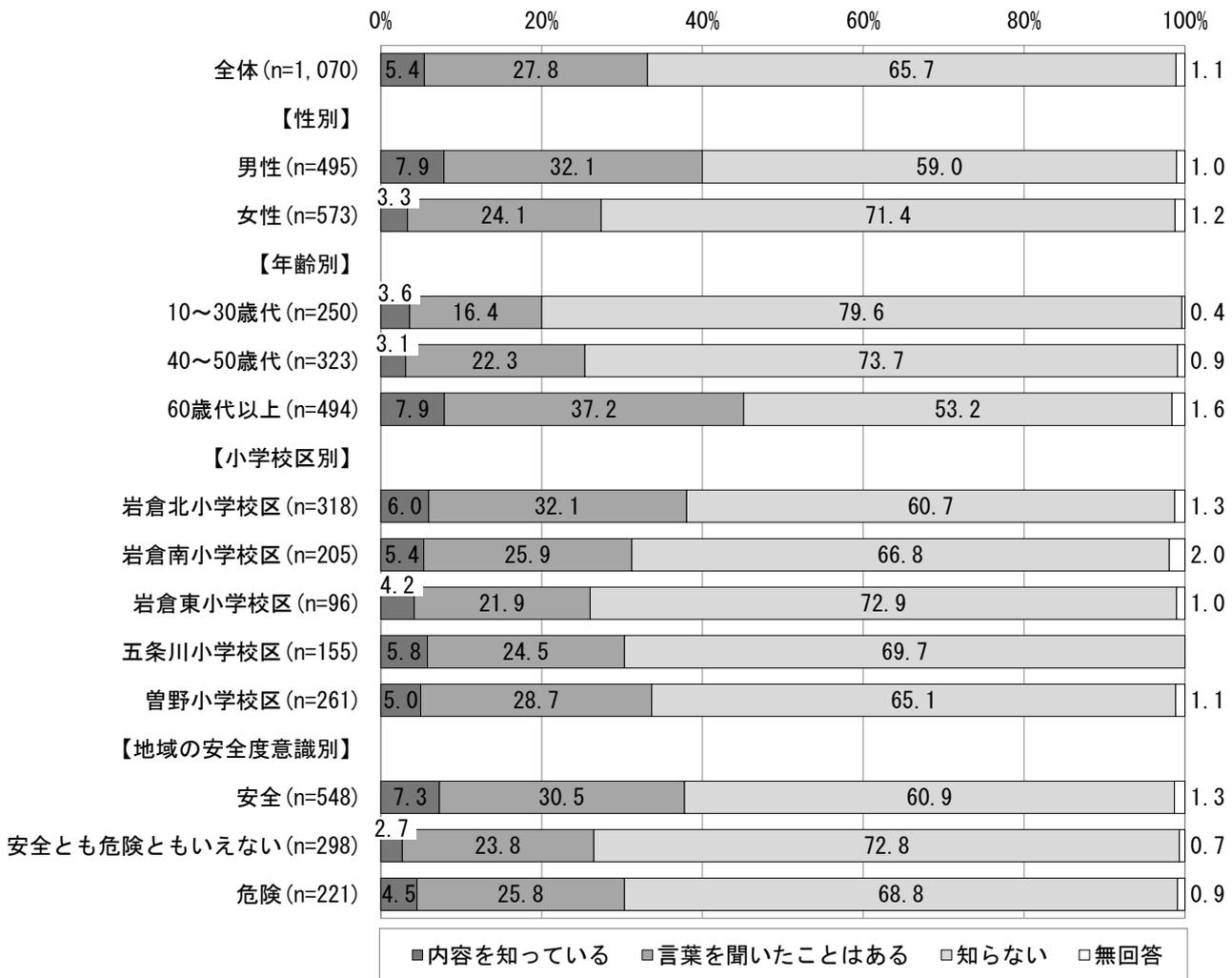
2. 強靱な地域をつくるための方策について

問8 現在、国、県、市などが「国土強靱化」を進めていることを知っていますか。(1つに○)

全体では、「内容を知っている」が5.4%、「言葉を聞いたことはある」が27.8%、「知らない」が65.7%となっています。

年齢別では、60歳代以上で「内容を知っている」が7.9%、「言葉を聞いたことはある」が37.2%と、他の年代に比べて高くなっています。

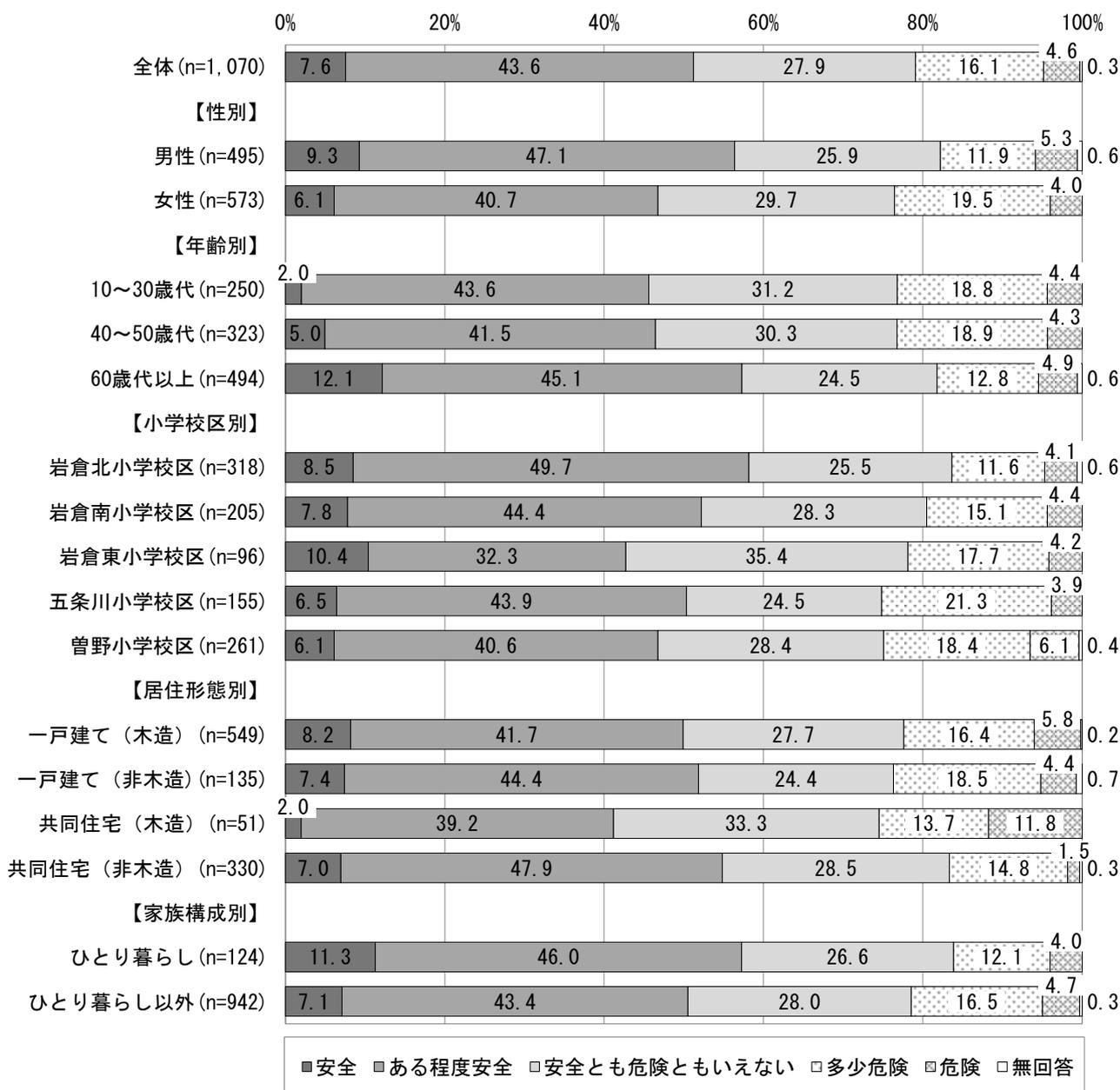
地域の安全度意識別では、安全と回答した人で「内容を知っている」と「言葉を聞いたことはある」の割合が高くなっています。



問9 お住まいの地域が災害に対し安全だと感じていますか。それとも危険だと感じていますか。
(1つに○)

全体では、「安全」が7.6%、「ある程度安全」が43.6%、「安全とも危険ともいえない」が27.9%、「多少危険」が16.1%、「危険」が4.6%となっています。「安全」と「ある程度安全」を合わせた『安全だと感じる』は51.2%、「多少危険」と「危険」を合わせた『危険だと感じる』は20.7%となっています。

性別では、女性で『安全だと感じる』は46.8%と、男性(56.4%)に比べて低くなっています。年齢別では『安全だと感じる』は、年齢が上がるほど高くなる傾向にあります。



※【居住形態別】は問6の回答を基にしている

※【家族構成別】は問7の回答を基に以下の通り定義している

ひとり暮らし : 問7で「ひとり暮らし」を選択

ひとり暮らし以外 : 問7で「夫婦のみ」・「親と子」・「親と子と孫」・「その他」を選択

(以下同)

問10 あなたにとって、今後起こりうる大規模自然災害として、脅威に感じる災害を2つまで選んでお答えください。市域では発生の頻度が低い災害を含んでいます。

全体では、「地震・津波」が89.8%と最も高く、「豪雨・台風（洪水・高潮等）」が87.4%、「異常渇水」が4.8%、「大雪」が0.7%、「土砂災害」が0.7%、「火山噴火」が0.5%と続いています。

(%)	地震・津波	豪雨・台風（洪水・高潮等）	異常渇水	大雪	土砂災害	火山噴火	その他	無回答
全体 (n=1,070)	89.8	87.4	4.8	0.7	0.7	0.5	1.2	0.3
【性別】								
男性 (n=495)	89.3	86.9	4.4	0.4	0.4	0.6	1.2	0.0
女性 (n=573)	90.4	87.8	5.1	1.0	0.9	0.3	1.2	0.5
【年齢別】								
10～30歳代 (n=250)	92.8	90.8	2.8	0.8	1.6	0.8	0.8	0.0
40～50歳代 (n=323)	93.5	84.8	3.4	0.9	0.0	0.3	1.2	0.0
60歳代以上 (n=494)	86.0	87.2	6.7	0.6	0.6	0.4	1.4	0.6
【小学校区別】								
岩倉北小学校区 (n=318)	90.3	86.5	4.1	0.3	0.6	0.3	1.6	0.3
岩倉南小学校区 (n=205)	89.8	87.8	4.9	1.0	0.5	0.0	0.5	0.0
岩倉東小学校区 (n=96)	92.7	76.0	7.3	2.1	0.0	1.0	1.0	1.0
五条川小学校区 (n=155)	88.4	94.8	5.2	0.6	0.0	0.0	1.3	0.6
曾野小学校区 (n=261)	90.0	87.7	4.6	0.8	0.8	0.8	1.5	0.0
【地域の安全度意識別】								
安全 (n=548)	89.1	83.2	6.4	0.4	0.4	0.5	1.5	0.2
安全とも危険ともいえない (n=298)	91.9	91.3	3.7	1.0	1.3	0.3	0.3	0.3
危険 (n=221)	89.1	92.3	2.3	1.4	0.5	0.5	1.8	0.5

問 11 大規模自然災害に事前に備えるべき目標として、優先度が高いと思う目標を2つ選んでお答えください。(2つに〇)

全体では、「災害発生後であっても、生活・事業活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること」が60.2%と最も高く、「災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られること」が57.8%と続いています。

(%)	災害発生後であっても、生活・事業活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること	災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られること	災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われること	災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能を確保すること	制御不能な二次災害を発生させないこと	災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること	災害発生直後から必要不可欠な行政機能を確保すること	災害発生後であっても、経済活動を機能不全に陥らせないこと	その他	無回答
全体 (n=1,070)	60.2	57.8	55.5	9.5	7.2	4.2	3.1	0.7	0.4	0.6
【性別】										
男性 (n=495)	57.0	59.2	56.2	9.7	6.7	3.8	3.8	0.8	0.6	0.6
女性 (n=573)	63.2	56.5	55.1	9.4	7.7	4.5	2.3	0.7	0.2	0.3
【年齢別】										
10～30歳代 (n=250)	54.4	54.0	60.8	11.6	9.6	3.6	2.4	1.2	0.8	0.0
40～50歳代 (n=323)	60.1	59.4	57.6	9.0	7.1	2.5	3.4	0.6	0.0	0.3
60歳代以上 (n=494)	63.4	58.7	51.8	8.9	6.1	5.7	3.0	0.6	0.4	0.8
【小学校区別】										
岩倉北小学校区 (n=318)	58.5	58.8	55.3	10.1	6.3	4.4	4.1	0.0	0.6	0.3
岩倉南小学校区 (n=205)	57.6	59.5	54.1	8.8	8.3	3.9	4.9	2.4	0.0	0.5
岩倉東小学校区 (n=96)	60.4	58.3	56.3	5.2	4.2	7.3	3.1	0.0	1.0	1.0
五条川小学校区 (n=155)	65.2	55.5	55.5	10.3	5.8	5.2	1.9	0.0	0.0	0.0
曾野小学校区 (n=261)	62.1	55.9	58.2	11.1	8.4	2.7	0.8	0.8	0.4	0.4
【地域の安全度意識別】										
安全 (n=548)	60.0	58.8	55.8	9.3	6.4	4.7	2.9	0.7	0.4	0.4
安全とも危険ともいえない (n=298)	60.7	58.7	52.3	8.4	8.4	5.0	3.4	1.0	0.0	0.7
危険 (n=221)	59.7	53.4	59.3	11.8	7.7	1.8	3.2	0.5	0.9	0.9

問 12 大規模自然災害に対する対策として、優先度が高いと思う対策を3つまで選んでお答えください。(3つまでに○)

全体では、「必要な物資の供給の迅速化」が55.6%と最も高く、「食料等の供給の確保」が42.1%、「公共施設や不特定多数が集まる施設の耐震化」が29.8%、「情報提供・情報収集機能の多様化・迅速化」が27.8%、「医療機関の防災力の強化」が27.2%と続いています。

(%)	必要な物資の供給の迅速化	食料等の供給の確保	公共施設や不特定多数が集まる施設の耐震化	情報提供・情報収集機能の多様化・迅速化	医療機関の防災力の強化	交通の分断・途絶のない道路等インフラの耐災害性強化と交通網の多重化・ネットワークの強化による交通機能強化	上下水道の防災力の強化	個人住宅の耐震化	主要道路の通行遮断による市域を孤立化させない対応の強化	行政機関の防災力の強化	地域コミュニティ（自主防災組織等）の防災力の強化	災害廃棄物の処理の迅速化	小・中学校教育などでの防災教育の実施	自然環境の保全・再生	市主催イベントや広報誌を用いての防災啓蒙活動の実施	その他	無回答
全体 (n=1,070)	55.6	42.1	29.8	27.8	27.2	26.6	23.4	22.0	7.5	7.3	7.3	5.3	2.8	1.9	0.7	0.7	0.7
【性別】																	
男性 (n=495)	54.1	44.8	27.1	26.7	30.9	27.7	24.2	24.2	6.3	6.5	7.1	4.0	3.0	1.6	1.0	0.8	0.2
女性 (n=573)	57.1	40.0	32.1	28.8	24.1	25.7	22.7	20.1	8.6	8.0	7.5	6.5	2.6	2.1	0.5	0.5	0.9
【年齢別】																	
10～30歳代 (n=250)	58.8	44.8	34.8	26.0	26.0	27.6	18.4	22.0	7.6	7.6	6.8	3.2	3.6	2.4	0.0	1.2	0.0
40～50歳代 (n=323)	57.9	39.3	27.9	30.7	28.2	29.1	21.7	19.8	5.6	6.2	5.9	6.8	2.8	2.5	1.2	0.6	0.3
60歳代以上 (n=494)	52.8	42.7	28.5	26.9	27.3	24.5	26.9	23.5	8.5	7.9	8.5	5.5	2.4	1.2	0.8	0.4	1.0
【小学校区別】																	
岩倉北小学校区 (n=318)	53.8	37.4	34.0	29.9	27.0	27.4	23.3	22.0	5.3	6.6	7.2	3.1	2.8	2.8	1.6	1.3	0.9
岩倉南小学校区 (n=205)	47.8	47.8	32.2	26.3	29.8	25.9	22.4	20.0	9.8	6.8	6.8	6.8	2.9	1.0	0.0	0.5	1.0
岩倉東小学校区 (n=96)	66.7	51.0	33.3	27.1	20.8	24.0	26.0	15.6	6.3	5.2	7.3	5.2	2.1	1.0	0.0	0.0	0.0
五条川小学校区 (n=155)	58.7	44.5	23.2	29.7	20.6	26.5	24.5	25.2	7.7	8.4	9.7	3.2	1.3	2.6	1.3	0.0	0.0
曾野小学校区 (n=261)	57.9	37.9	26.8	25.7	31.8	26.8	23.4	23.8	8.0	8.8	6.5	7.7	3.1	1.1	0.4	0.8	0.8
【地域の安全度意識別】																	
安全 (n=548)	54.9	40.5	31.4	28.6	27.9	27.7	24.5	21.2	7.1	7.3	9.5	3.1	2.7	2.2	0.7	0.5	0.5
安全とも危険ともいえない (n=298)	57.4	46.3	28.2	26.5	25.8	26.2	21.5	21.8	7.7	8.1	4.0	7.7	2.3	1.7	1.0	0.3	0.7
危険 (n=221)	54.8	40.7	27.6	27.6	27.6	24.9	23.1	24.0	7.7	6.3	5.9	7.7	3.6	1.4	0.5	1.4	0.9

問 13 市内の基幹的な交通ネットワークのうち、大規模自然災害等により途絶した場合、影響が大きいと思う主要な交通を2つ選んでお答えください。(2つに○)

全体では、「県道 63 号名古屋江南線（名草線）」が 68.2%と最も高く、「名鉄犬山線」が 64.2%、「国道 155 号」が 28.9%、「高速道路（名神高速道路）」が 16.0%、「県道 25 号春日井一宮線」が 9.6%と続いています。

小学校区別では、岩倉東小学校区と曾野小学校区で「名鉄犬山線」、五条川小学校区で「国道 155 号」が最も高くなっています。

(%)	県道 63 号名古屋江南線（名草線）	名鉄犬山線	国道 155 号	高速道路（名神高速道路）	県道 25 号春日井一宮線	その他	無回答
全体 (n=1,070)	68.2	64.2	28.9	16.0	9.6	1.0	3.6
【性別】							
男性 (n=495)	68.9	62.6	28.7	16.0	10.7	1.6	3.8
女性 (n=573)	67.5	65.6	29.1	16.1	8.7	0.5	3.3
【年齢別】							
10～30歳代 (n=250)	60.4	57.6	38.0	18.0	9.2	2.0	4.0
40～50歳代 (n=323)	72.8	65.3	26.9	20.1	8.4	0.6	1.2
60歳代以上 (n=494)	69.0	66.8	25.7	12.3	10.7	0.8	4.9
【小学校区別】							
岩倉北小学校区 (n=318)	69.8	61.0	28.9	16.4	10.1	0.6	3.8
岩倉南小学校区 (n=205)	78.0	68.8	20.0	14.6	7.8	1.0	2.4
岩倉東小学校区 (n=96)	53.1	65.6	22.9	19.8	21.9	1.0	4.2
五条川小学校区 (n=155)	56.8	49.7	57.4	12.9	9.0	1.3	4.5
曾野小学校区 (n=261)	71.6	72.4	21.8	16.1	7.3	1.5	2.7
【地域の安全度意識別】							
安全 (n=548)	68.6	64.6	29.2	13.9	9.9	1.3	3.1
安全とも危険ともいえない (n=298)	66.4	63.4	26.8	17.4	9.7	0.7	5.0
危険 (n=221)	69.7	63.8	30.8	19.5	9.0	0.9	2.7

問 14 各ライフラインのうち、大規模自然災害により機能不全となった場合、影響が大きいと思うものを2つまで選んでお答えください。(2つまでに○)

全体では、「電気」が81.3%と最も高く、「上水道」が73.6%、「携帯電話・スマートフォン」が17.4%、「下水道」が16.7%、「ガス」が6.5%、「インターネット回線」が2.3%と続いています。

(%)	電気	上水道	携帯電話・スマートフォン	下水道	ガス	インターネット回線	固定電話	その他	無回答
全体 (n=1,070)	81.3	73.6	17.4	16.7	6.5	2.3	0.9	0.2	0.8
【性別】									
男性 (n=495)	81.0	75.8	15.2	16.8	5.9	2.0	1.0	0.4	0.8
女性 (n=573)	81.7	71.9	19.4	16.8	7.2	2.6	0.9	0.0	0.7
【年齢別】									
10～30歳代 (n=250)	74.0	64.4	27.6	24.0	4.8	5.2	0.0	0.4	0.4
40～50歳代 (n=323)	81.7	73.7	20.4	14.9	5.9	2.2	0.3	0.0	0.0
60歳代以上 (n=494)	84.8	78.5	10.3	14.4	7.7	1.0	1.8	0.2	1.4
【小学校区別】									
岩倉北小学校区 (n=318)	83.6	74.5	17.0	14.5	6.0	3.8	0.3	0.3	0.3
岩倉南小学校区 (n=205)	79.0	78.0	17.1	15.6	5.9	0.0	1.5	0.0	2.0
岩倉東小学校区 (n=96)	76.0	70.8	17.7	22.9	7.3	0.0	1.0	0.0	1.0
五条川小学校区 (n=155)	82.6	81.9	13.5	11.6	5.8	2.6	0.0	0.0	0.6
曾野小学校区 (n=261)	82.4	68.6	18.4	19.5	6.1	2.7	1.5	0.4	0.8
【地域の安全度意識別】									
安全 (n=548)	81.9	73.0	16.8	17.7	6.8	1.6	1.3	0.4	0.9
安全とも危険ともいえない (n=298)	82.6	74.2	18.1	11.7	7.7	2.3	1.0	0.0	0.7
危険 (n=221)	77.8	74.7	18.1	21.3	4.1	4.1	0.0	0.0	0.9

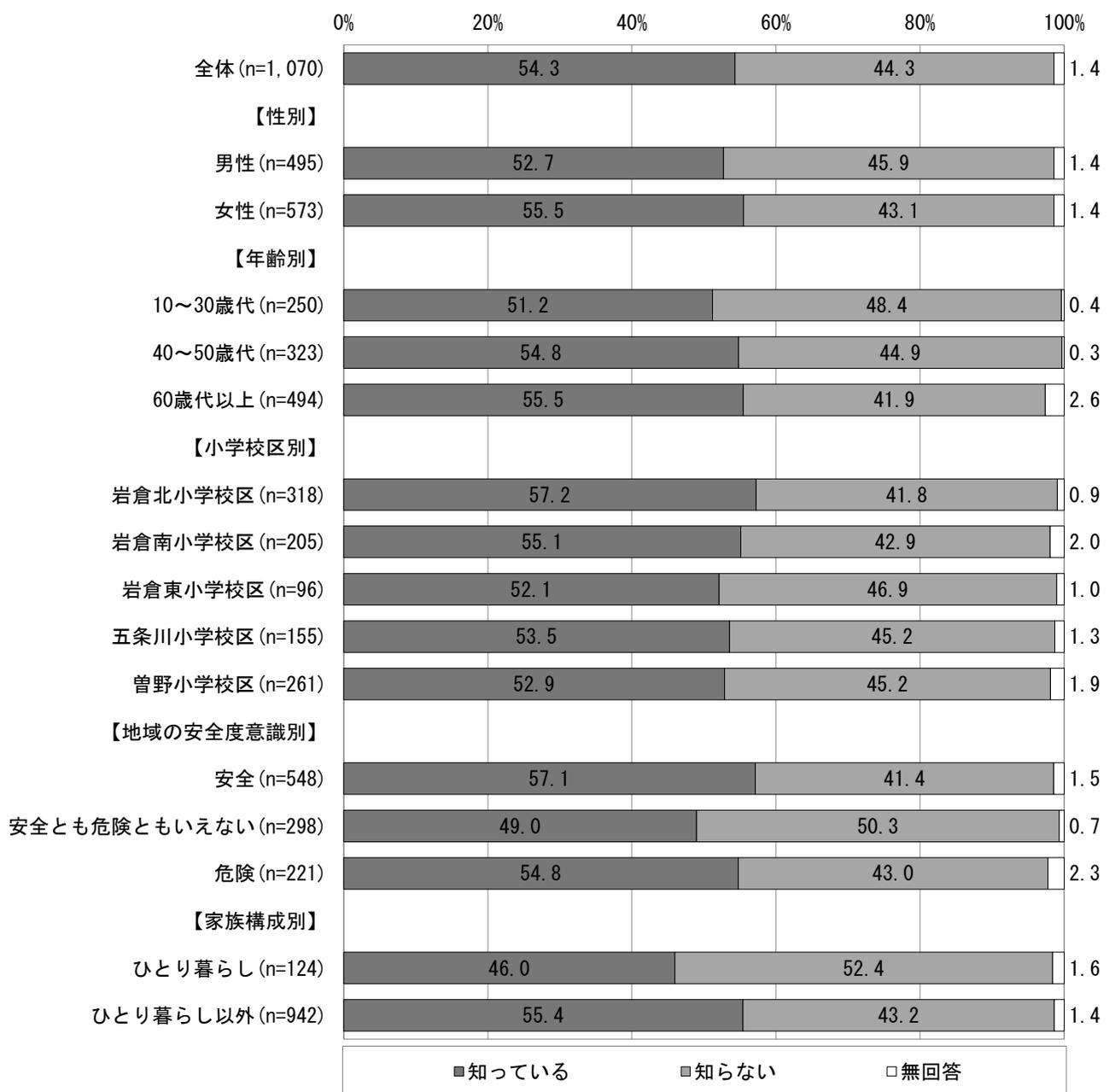
3. 災害や災害時の行動について

問 15 岩倉市が指定する南海トラフ巨大地震（東海地震含む）の防災対策推進地域（著しい地震災害が生ずる恐れがある地域）に含まれていることを知っていますか。（どちらかに○）

全体では、「知っている」が 54.3%、「知らない」が 44.3%となっています。

地域の安全度意識別では、安全とも危険ともいえないと回答した方は「知っている」が 49.0%と低くなっています。災害リスクへの認知度が低いために、安全かどうか判断できていないと推測できます。

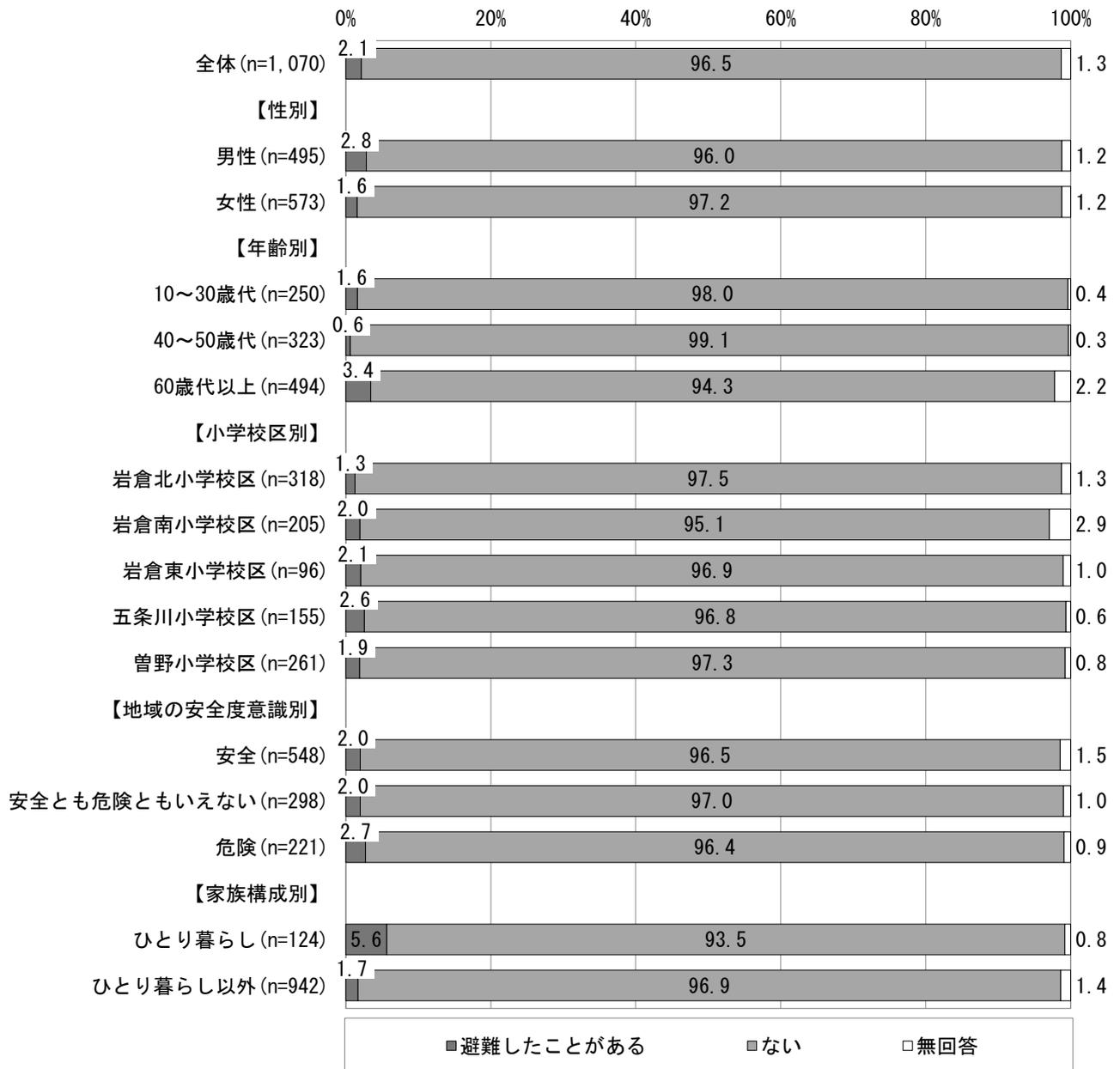
家族構成別では「知っている」は、ひとり暮らし以外（55.4%）がひとり暮らし（46.0%）を 9.4ポイント上回っています。



問 16 今までに自主的に避難所へ避難したことがありますか。(1つに○)

全体では、「避難したことがある」が2.1%、「ない」が96.5%となっています。

家族構成別では、ひとり暮らしで「避難したことがある」が5.6%と若干高くなっています。



問 16 で「ない」と回答した方のみお答えください

問 16-1 それはなぜですか。該当するものをすべてお答えください。

全体では、「被害に遭うと思わなかった・被害にあったことがないから」が 60.5%と最も高く、「自宅にいるのが安全と判断したから」が 44.3%、「人からの声掛けがなかった・近隣住民が避難していなかったから」が 7.8%と続いています。

(%)	被害に遭ったと思わなかったから・	自宅にいるのが安全と判断したから	近隣住民が避難しなかったから・人からの声掛けがなかったから	避難するの危険、避難所が遠いなど（自身または家族）	避難するの課題・支障（大雨等道中が危険、避難者（自身または家族）が遠いなど）	その他	無回答
全体 (n=1,033)	60.5	44.3	7.8	5.9	2.7	1.7	
【性別】							
男性 (n=475)	56.2	46.7	8.0	5.7	3.8	2.1	
女性 (n=557)	64.3	42.2	7.7	6.1	1.8	1.4	
【年齢別】							
10～30歳代 (n=245)	65.3	40.4	6.1	4.5	3.3	1.2	
40～50歳代 (n=320)	58.8	47.2	9.4	4.4	3.1	0.9	
60歳代以上 (n=466)	59.4	44.4	7.7	7.7	2.1	2.4	
【小学校区別】							
岩倉北小学校区 (n=310)	61.0	44.2	7.1	3.2	2.9	1.6	
岩倉南小学校区 (n=195)	54.4	52.8	7.7	4.6	3.6	2.6	
岩倉東小学校区 (n=93)	63.4	35.5	8.6	5.4	4.3	4.3	
五条川小学校区 (n=150)	69.3	35.3	6.7	7.3	1.3	1.3	
曾野小学校区 (n=254)	58.7	47.2	8.3	8.7	2.0	0.8	
【家族構成別】							
ひとり暮らし (n=116)	50.0	47.4	8.6	6.0	6.9	2.6	
ひとり暮らし以外 (n=913)	61.8	44.0	7.8	5.9	2.2	1.6	

問 17 大地震が起こった場合、心配することとして該当するものをすべてお答えください。
(すべてに○)

全体では、「電気、水道、ガスの供給停止」が 92.1%と最も高く、「食料・飲料水、燃料、日用品等の確保が困難になること」が 88.6%、「建物の倒壊・損壊」が 78.4%、「火災の発生」が 70.9%、「家族の安否の確認ができなくなること」が 62.3%、「避難所生活」が 52.3%と続いています。なお、「心配なことはない」は 0.2%となっています。

(%)	電気、水道、ガスの供給停止	食料・飲料水、燃料、日用品等の確保が困難になること	建物の倒壊・損壊	火災の発生	家族の安否の確認ができなくなること	避難所生活	タンス等の家具類の転倒	ガス等の危険物の爆発	外出先・勤務先から帰宅することができなくなる	液状化現象	地割れ、陥没	治安の悪化	企業の生産活動の停止	土砂崩れ、がけ崩れ	その他	心配なことはない	無回答
全体 (n=1,070)	92.1	88.6	78.4	70.9	62.3	52.3	43.8	42.2	41.4	35.7	32.6	29.6	12.5	4.1	2.9	0.2	0.4
【性別】																	
男性 (n=495)	90.7	86.5	78.6	67.5	53.3	45.9	38.8	37.8	35.8	36.2	31.1	28.7	12.1	4.8	2.4	0.4	0.4
女性 (n=573)	93.4	90.6	78.4	74.0	70.3	58.1	48.2	46.2	46.4	35.3	33.9	30.4	12.7	3.5	3.3	0.0	0.2
【年齢別】																	
10～30歳代 (n=250)	89.6	91.6	81.6	68.0	76.0	58.8	45.2	42.4	54.0	37.2	35.2	27.6	16.4	8.4	3.2	0.0	0.4
40～50歳代 (n=323)	92.9	87.3	78.3	70.9	72.8	56.3	44.6	41.2	53.6	33.1	36.2	31.9	15.5	4.6	4.6	0.0	0.0
60歳代以上 (n=494)	93.1	88.3	77.1	72.7	49.0	46.8	42.7	43.1	27.3	36.6	28.9	29.1	8.5	1.6	1.6	0.4	0.2
【小学校区別】																	
岩倉北小学校区 (n=318)	94.7	88.4	82.1	72.6	62.6	47.8	45.0	42.1	38.4	35.8	32.1	29.6	12.6	1.9	3.5	0.0	0.0
岩倉南小学校区 (n=205)	90.2	87.3	73.7	68.3	60.0	50.7	37.1	41.0	41.0	36.1	29.3	25.4	12.2	5.4	2.9	0.0	0.5
岩倉東小学校区 (n=96)	92.7	91.7	77.1	68.8	60.4	51.0	61.5	51.0	46.9	26.0	35.4	35.4	13.5	4.2	3.1	0.0	0.0
五条川小学校区 (n=155)	90.3	89.0	76.8	72.9	68.4	53.5	40.0	47.1	40.0	33.5	30.3	29.7	13.5	5.2	1.3	0.0	1.3
曾野小学校区 (n=261)	91.6	88.1	80.8	72.0	61.7	59.8	43.3	37.9	45.6	39.8	36.4	30.3	12.3	3.8	3.1	0.8	0.4
【地域の安全度意識別】																	
安全 (n=548)	92.0	87.4	77.0	69.5	57.8	47.6	42.3	40.0	37.4	31.9	29.2	27.9	9.9	3.3	2.4	0.4	0.2
安全とも危険ともいえない (n=298)	93.0	91.6	78.9	74.8	65.8	53.4	47.7	48.0	45.6	36.6	34.2	31.5	15.4	5.0	2.7	0.0	0.7
危険 (n=221)	91.0	87.3	81.4	69.2	68.3	62.0	42.1	39.8	45.7	44.3	38.9	30.8	14.9	5.0	4.5	0.0	0.5

4. 災害に関する情報のあり方について

問 18 災害情報の入手先として利用しているものはどれですか。利用する機会が多いもの2つを選んでお答えください。(2つに○)

全体では、「テレビ」が84.5%と最も高く、「スマートフォンの防災情報に関するアプリ」が41.7%、「ラジオ」が26.4%、「ツイッター、フェイスブック等のSNS」が12.4%、「市の登録制メール（ほっと情報メール）」が9.9%、「友人・知人からのメール」が7.3%と続いています。

年齢別では「ツイッター、フェイスブック等のSNS」は、年齢が低いほど高くなる傾向にあります。

(%)	テレビ	スマートフォンの防災情報に関するアプリ	ラジオ	ツイッター、フェイスブック等のSNS	市の登録制メール（ほっと情報メール）	友人・知人からのメール	市のホームページ	防災行政無線	その他のホームページ	その他	無回答
全体 (n=1,070)	84.5	41.7	26.4	12.4	9.9	7.3	6.0	4.8	2.2	1.0	1.2
【性別】											
男性 (n=495)	84.0	42.8	29.9	10.9	7.5	5.9	5.9	5.9	2.8	0.6	1.2
女性 (n=573)	85.0	40.7	23.6	13.8	12.0	8.6	6.1	3.8	1.7	1.4	1.0
【年齢別】											
10～30歳代 (n=250)	78.4	45.6	8.8	37.2	13.6	5.2	7.6	2.0	4.8	1.2	0.8
40～50歳代 (n=323)	83.3	57.3	18.3	10.8	11.5	7.4	7.1	2.5	2.5	0.0	0.6
60歳代以上 (n=494)	88.7	29.6	40.7	1.0	7.1	8.3	4.5	7.7	0.8	1.6	1.6
【小学校区別】											
岩倉北小学校区 (n=318)	85.2	38.1	27.7	13.2	11.6	6.9	6.0	3.8	1.6	1.3	1.6
岩倉南小学校区 (n=205)	85.4	43.9	28.3	10.2	8.8	7.8	4.4	5.4	0.5	1.5	0.5
岩倉東小学校区 (n=96)	87.5	44.8	20.8	13.5	11.5	4.2	5.2	5.2	1.0	0.0	1.0
五条川小学校区 (n=155)	82.6	43.2	25.8	11.0	10.3	7.1	9.7	1.9	3.9	0.0	2.6
曾野小学校区 (n=261)	85.1	43.3	24.1	13.8	9.2	6.5	5.0	6.5	3.4	1.1	0.8
【地域の安全度意識別】											
安全 (n=548)	85.2	42.3	28.3	10.8	7.8	8.8	5.8	6.2	2.0	0.9	1.1
安全とも危険ともいえない (n=298)	83.9	40.3	23.5	12.4	12.4	5.7	6.4	3.4	2.3	1.0	1.7
危険 (n=221)	83.3	42.1	25.3	16.7	11.8	5.9	5.9	3.2	2.7	1.4	0.9

問 19 災害発生時に欲しいと思う情報を3つ選んでお答えください。

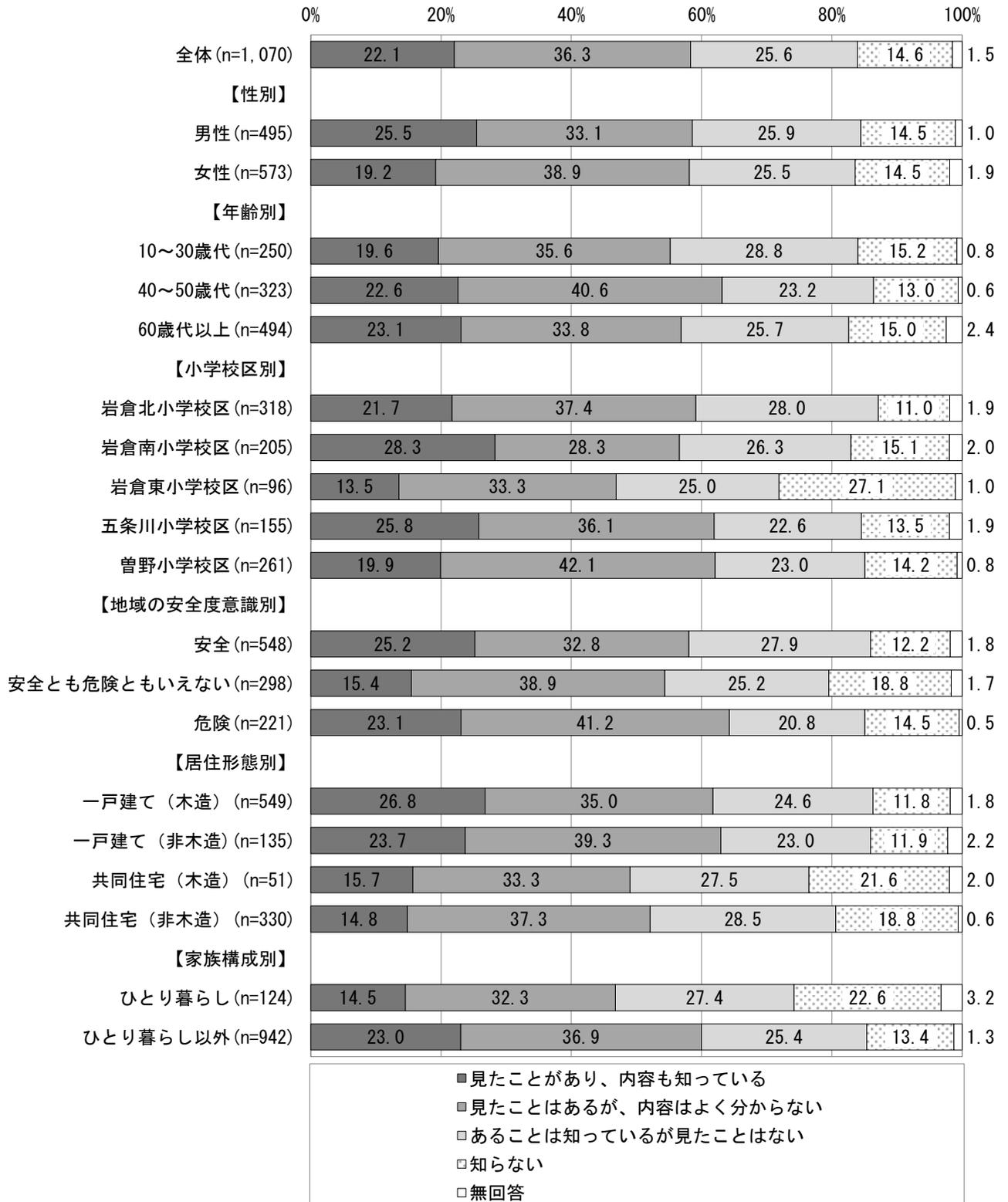
全体では、「電気・水道等のライフラインの情報」が93.0%と最も高く、「医療機関の情報」が46.0%、「道路交通等の情報や今後の復旧見通し」が35.2%、「損壊した家屋、生活に関する支援（各種制度の案内や適用など）」が34.2%、「スーパーマーケット等の営業情報（商品の入荷情報を含む）」が31.8%、「公共交通機関の運行情報や復旧の見通し」が20.1%と続いています。

(%)	電気・水道等のライフラインの情報	医療機関の情報	道路交通等の情報や今後の復旧見通し	損壊した家屋、生活に関する支援（各種制度の案内や適用など）	スーパーマーケット等の営業情報（商品の入荷情報を含む）	公共交通機関の運行情報や復旧の見通し	各種の相談窓口（連絡先含む）に関する情報	ゴミ収集の情報	学校の休校等の情報	ボランティアの派遣や募集に関する情報	その他	無回答
全体 (n=1,070)	93.0	46.0	35.2	34.2	31.8	20.1	16.6	6.6	4.0	1.5	1.0	1.4
【性別】												
男性 (n=495)	92.1	45.9	37.8	33.3	27.5	23.8	16.4	6.7	3.0	1.4	1.2	1.4
女性 (n=573)	93.9	46.1	33.0	35.1	35.6	16.9	16.9	6.6	4.9	1.6	0.9	1.2
【年齢別】												
10～30歳代 (n=250)	93.2	42.8	37.6	36.4	34.8	21.2	14.0	5.2	6.4	1.2	1.6	0.8
40～50歳代 (n=323)	94.4	44.6	37.8	31.0	29.7	25.1	15.2	6.5	7.1	1.2	1.2	0.3
60歳代以上 (n=494)	92.1	48.6	32.4	35.4	31.6	16.4	19.0	7.3	0.8	1.8	0.6	2.2
【小学校区別】												
岩倉北小学校区 (n=318)	92.8	40.9	38.4	30.2	28.6	23.9	19.2	6.9	3.8	1.3	1.3	2.2
岩倉南小学校区 (n=205)	91.2	48.3	31.7	38.5	30.2	22.0	16.6	7.8	4.9	2.0	1.0	1.0
岩倉東小学校区 (n=96)	93.8	52.1	32.3	30.2	42.7	17.7	11.5	4.2	6.3	0.0	0.0	1.0
五条川小学校区 (n=155)	94.2	50.3	38.7	39.4	28.4	14.8	8.4	5.2	3.2	3.2	0.6	1.9
曾野小学校区 (n=261)	93.5	46.0	34.1	34.5	33.7	19.2	19.5	6.9	2.3	0.8	1.5	0.8
【地域の安全度意識別】												
安全 (n=548)	94.9	44.3	37.8	29.0	33.6	23.2	14.6	7.7	3.6	0.5	0.9	1.3
安全とも危険ともいえない (n=298)	91.3	48.0	30.9	39.9	30.9	15.4	19.5	5.7	6.0	1.3	1.0	1.7
危険 (n=221)	91.0	47.1	35.3	38.9	29.0	19.0	18.1	5.4	2.3	4.1	1.4	0.9

問 20 お住まいの地域のハザードマップを知っていますか。見たことはありますか。(1つに○)

全体では、「見たことがあり、内容も知っている」と「見たことはあるが、内容はよく分からない」を合わせた『見たことがある』は58.4%となっています。

家族構成別では、ひとり暮らしで「見たことがあり、内容も知っている」と「見たことはあるが、内容はよく分からない」を合わせた『見たことがある』は46.8%と全体よりも低くなっています。



問 21 災害に備えて、食料・飲料水など備蓄として準備しているものをすべてお答えください。

全体では、「飲料水」が 78.6%と最も高く、「レトルト食品」が 51.8%、「缶詰」が 50.1%、「ビスケット・クラッカー」が 30.6%、「乳幼児用ミルク」が 2.1%、「離乳食」が 1.9%と続いています。

(%)	飲料水	レトルト食品	缶詰	ビスケット・クラッカー	乳幼児用ミルク	離乳食	その他	無回答
全体 (n=1,070)	78.6	51.8	50.1	30.6	2.1	1.9	10.0	7.4
【性別】								
男性 (n=495)	77.8	46.5	49.7	26.3	1.6	2.0	9.3	9.1
女性 (n=573)	79.4	56.4	50.4	34.4	2.6	1.7	10.6	5.8
【年齢別】								
10～30歳代 (n=250)	78.8	52.4	42.0	33.2	6.4	6.4	9.6	6.0
40～50歳代 (n=323)	77.7	48.9	43.3	32.2	1.5	0.6	9.9	7.4
60歳代以上 (n=494)	79.4	53.4	58.7	28.3	0.4	0.4	10.3	7.7
【小学校区別】								
岩倉北小学校区 (n=318)	81.1	52.5	51.3	32.7	1.3	1.3	10.1	7.9
岩倉南小学校区 (n=205)	78.0	48.8	47.3	27.3	2.4	2.9	11.7	4.4
岩倉東小学校区 (n=96)	74.0	49.0	51.0	27.1	3.1	1.0	12.5	13.5
五条川小学校区 (n=155)	78.7	52.9	52.3	32.9	3.9	2.6	10.3	7.1
曾野小学校区 (n=261)	77.4	54.0	48.3	31.4	1.5	1.5	8.0	6.9
【地域の安全度意識別】								
安全 (n=548)	79.7	51.5	51.8	30.1	1.6	1.5	9.5	7.3
安全とも危険ともいえない (n=298)	72.8	49.0	45.0	27.9	2.3	2.7	10.1	10.1
危険 (n=221)	83.7	56.6	52.5	35.3	3.2	1.8	11.3	4.1

問 22 災害に備えて、防災グッズ（食料品以外の生活必需品）の備蓄として準備しているものをすべてお答えください。（すべてに○）

全体では、「懐中電灯」が 84.6%と最も高く、「携帯ラジオ」が 51.6%、「乾電池・充電池（太陽光）」が 44.9%、「救急セット（マスク、消毒薬、ガーゼ、包帯、常備薬等）」が 43.6%、「毛布・寝袋・衣類」が 25.3%、「携帯用トイレ」が 21.1%と続いています。

家族構成別では「乾電池・充電池（太陽光）」は、ひとり暮らし以外（47.0%）がひとり暮らし（29.8%）を 17.2 ポイント上回っています。

(%)	懐中電灯	携帯ラジオ	乾電池・充電池（太陽光）	救急セット（マスク、消毒薬、ガーゼ、包帯、常備薬等）	毛布・寝袋・衣類	携帯用トイレ	ヘルメット・防災ずきん	紙おむつ	準備していない	その他	無回答
全体 (n=1,070)	84.6	51.6	44.9	43.6	25.3	21.1	17.2	9.2	8.6	4.5	2.4
【性別】											
男性 (n=495)	82.8	55.4	45.7	42.2	25.3	17.2	19.4	7.7	9.3	2.8	2.6
女性 (n=573)	86.2	48.5	44.3	44.7	25.5	24.6	15.4	10.5	8.0	5.9	2.1
【年齢別】											
10～30歳代 (n=250)	75.6	34.0	38.4	43.2	26.4	27.6	15.2	14.4	16.8	8.0	2.0
40～50歳代 (n=323)	81.1	39.9	42.1	41.8	26.0	20.1	11.5	4.6	9.6	4.3	1.9
60歳代以上 (n=494)	91.7	68.4	50.2	44.9	24.5	18.6	22.1	9.5	3.8	2.8	2.6
【小学校区別】											
岩倉北小学校区 (n=318)	85.5	55.0	48.7	46.2	26.4	25.2	19.5	8.8	6.9	6.6	2.5
岩倉南小学校区 (n=205)	85.9	53.7	42.0	47.3	25.4	20.0	20.0	7.8	7.8	3.4	1.5
岩倉東小学校区 (n=96)	79.2	49.0	49.0	33.3	24.0	21.9	13.5	9.4	12.5	6.3	6.3
五条川小学校区 (n=155)	84.5	45.8	42.6	43.2	25.2	16.8	14.8	14.8	10.3	3.9	2.6
菅野小学校区 (n=261)	84.7	49.4	44.1	41.4	24.5	19.2	14.9	7.3	8.8	2.7	1.9
【家族構成別】											
ひとり暮らし (n=124)	78.2	50.0	29.8	33.9	29.8	9.7	12.1	6.5	12.9	2.4	4.0
ひとり暮らし以外 (n=942)	85.5	51.9	47.0	44.8	24.6	22.6	17.9	9.6	8.0	4.7	2.2

問 23 あなたは、外出中の被災に備えていつも身につけているもの、準備しているものをすべてお答えください。(すべてに○)

全体では、「マスクやハンカチ」が48.6%と最も高く、「身元や血液型、連絡先等を記したカード」が23.6%、「かかりつけの病院の診察券や病名・処方薬を書いたメモ」が19.9%、「ライト付きキーホルダーや笛」が9.7%、「ペットボトルの水やチョコレート」が9.5%、「状況を把握するためのポケットラジオ、メモ帳、筆記具」が9.3%と続いています。「特になし」は32.7%みられます。

年齢別では、「かかりつけの病院の診察券や病名・処方薬を書いたメモ」は、年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、60歳代以上では33.4%となっています。

(%)	マスクやハンカチ	身元や血液型、連絡先等を記したカード	かかりつけの病院の診察券や病名・処方薬を書いたメモ	ライト付きキーホルダーや笛	ペットボトルの水やチョコレート	状況を把握するためのポケットラジオ、メモ帳、筆記具	臓器提供意思表示カード	会社で配付された防災手帳や緊急連絡網など	その他	特になし	無回答
全体 (n=1,070)	48.6	23.6	19.9	9.7	9.5	9.3	5.5	3.5	2.8	32.7	3.2
【性別】											
男性 (n=495)	37.2	23.8	17.2	11.3	6.3	8.9	5.7	4.6	3.2	37.8	3.8
女性 (n=573)	58.6	23.6	22.3	8.4	12.4	9.8	5.4	2.4	2.4	28.3	2.4
【年齢別】											
10～30歳代 (n=250)	41.6	22.8	6.8	6.4	10.0	6.4	8.8	6.4	0.8	41.2	2.4
40～50歳代 (n=323)	44.0	16.1	9.6	8.0	9.0	5.6	5.6	4.0	3.7	39.3	0.9
60歳代以上 (n=494)	55.5	29.1	33.4	12.6	9.7	13.4	3.8	1.6	3.2	24.1	4.7
【小学校区別】											
岩倉北小学校区 (n=318)	49.4	24.5	17.9	9.7	9.7	10.4	5.0	3.5	2.8	31.1	2.8
岩倉南小学校区 (n=205)	43.9	22.9	18.5	5.9	12.7	12.2	3.9	3.9	2.4	37.6	2.0
岩倉東小学校区 (n=96)	49.0	27.1	29.2	13.5	8.3	7.3	8.3	2.1	3.1	31.3	3.1
五条川小学校区 (n=155)	54.8	24.5	25.8	11.0	8.4	9.0	5.2	3.9	1.9	25.8	6.5
曾野小学校区 (n=261)	47.9	21.1	14.9	10.3	7.3	6.5	6.9	2.7	3.8	35.2	2.7
【地域の安全度意識別】											
安全 (n=548)	52.2	26.5	22.3	10.2	8.6	9.3	6.0	3.6	2.7	28.6	2.9
安全とも危険ともいえない (n=298)	44.3	16.1	17.1	5.7	10.7	7.7	4.0	2.0	2.3	39.6	3.4
危険 (n=221)	45.7	26.2	17.6	13.1	9.5	11.3	6.3	5.0	3.6	33.9	3.2

問 24 あなたやご家族は、自宅以外の場所に避難しなければならない事態に備えてどのような対策をとっていますか。(すべてに○)

全体では、「避難場所の位置を確認している」が48.5%と最も高く、「家族が落ち合う場所を決めている」が18.5%、「実際に避難場所まで行き、避難経路も確認している」が13.6%、「家族との連絡方法を決めている」が12.4%と続いています。また「特に何もしていない」が38.5%となっています。

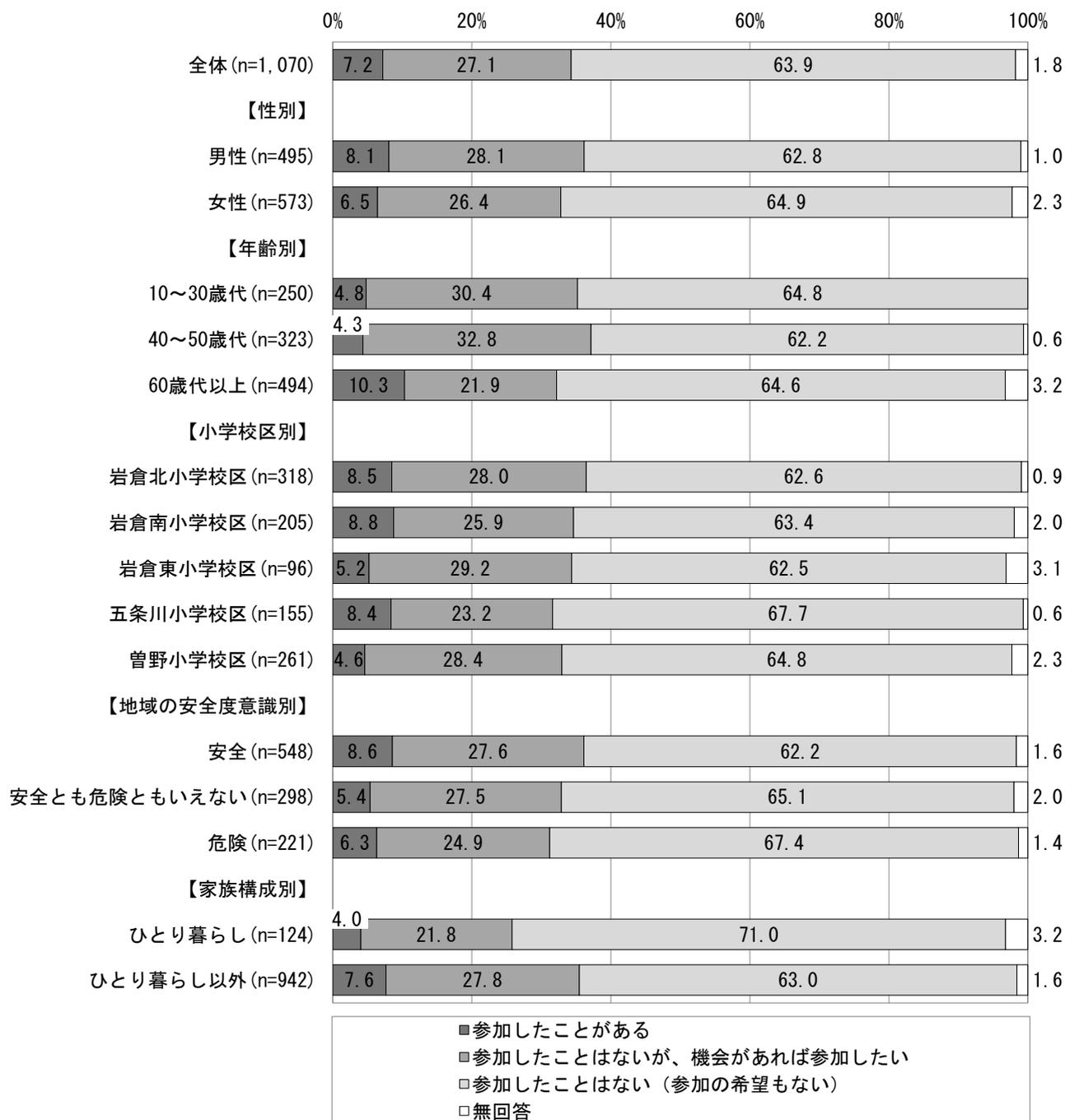
家族構成別では「特に何もしていない」は、ひとり暮らし(57.3%)がひとり暮らし以外(36.0%)を21.3ポイント上回っています。

(%)	避難場所の位置を確認している	家族が落ち合う場所を決めている	実際に避難場所まで行き、避難経路も確認している	家族との連絡方法を決めている	特に何もしていない	その他	無回答
全体(n=1,070)	48.5	18.5	13.6	12.4	38.5	1.2	1.7
【性別】							
男性(n=495)	45.5	16.2	14.7	13.7	44.0	0.8	1.0
女性(n=573)	51.3	20.6	12.6	11.3	33.7	1.6	2.1
【年齢別】							
10～30歳代(n=250)	42.8	21.6	8.0	8.8	43.2	1.2	0.0
40～50歳代(n=323)	48.6	18.9	7.4	9.9	39.9	0.6	0.3
60歳代以上(n=494)	51.6	16.8	20.2	16.0	35.2	1.6	3.2
【小学校区別】							
岩倉北小学校区(n=318)	53.8	20.1	14.8	13.2	33.6	1.9	1.3
岩倉南小学校区(n=205)	45.9	22.4	12.2	15.1	36.6	1.0	2.4
岩倉東小学校区(n=96)	40.6	16.7	12.5	6.3	50.0	0.0	1.0
五条川小学校区(n=155)	56.8	18.7	17.4	14.2	31.6	0.6	1.3
曾野小学校区(n=261)	43.7	14.9	11.5	10.0	44.1	1.5	1.9
【家族構成別】							
ひとり暮らし(n=124)	29.8	6.5	12.1	9.7	57.3	2.4	2.4
ひとり暮らし以外(n=942)	51.0	20.2	13.8	12.8	36.0	1.1	1.6

問 25 災害ボランティア活動に参加したことはありますか。(1つに○)

全体では、「参加したことがある」が7.2%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が27.1%、「参加したことはない(参加の希望もない)」が63.9%となっています。

年齢別では、60歳代以上で「参加したことがある」が10.3%と、他の年代に比べて高くなっています。

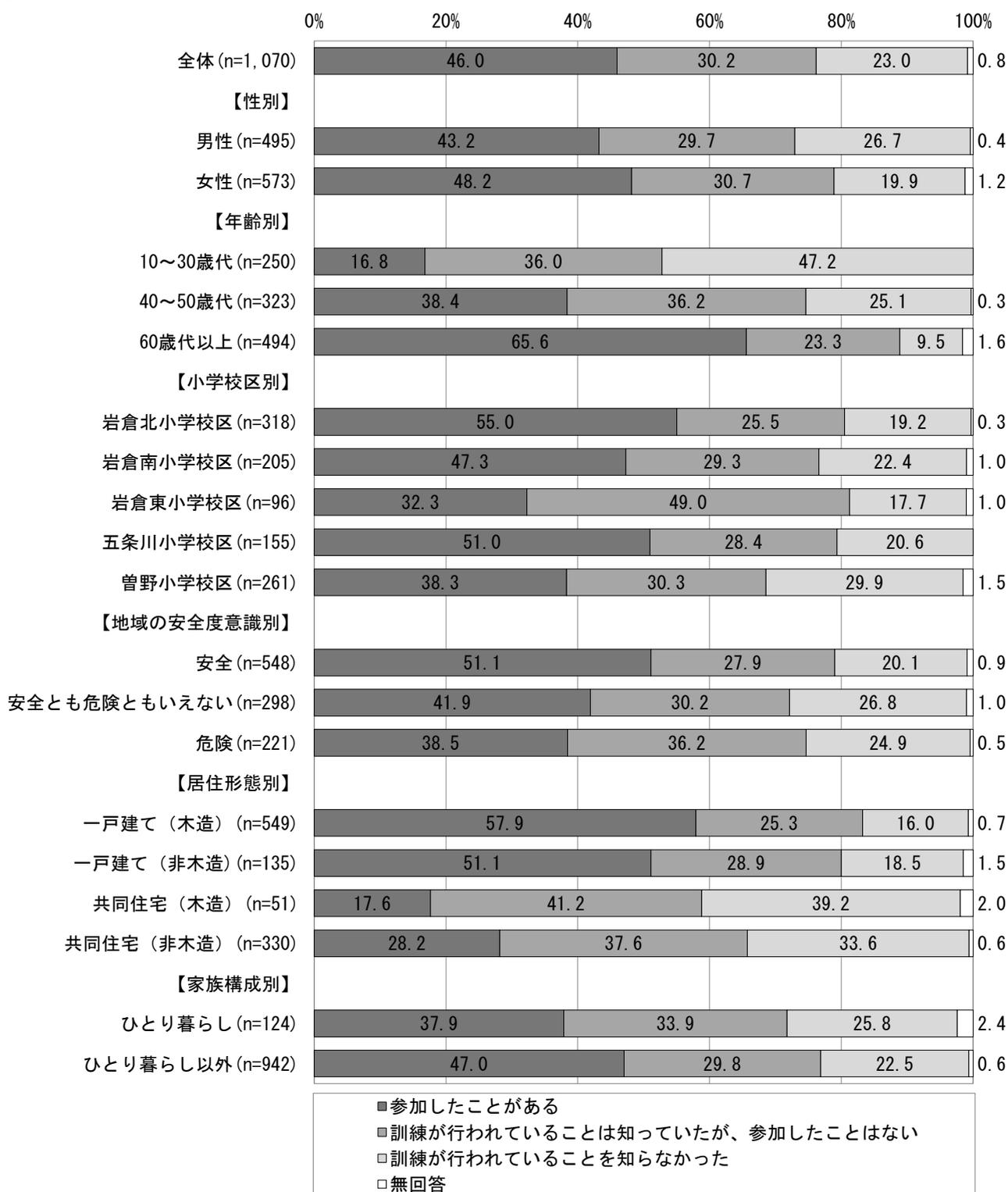


問 26 今までに市や地域で行う防災訓練に参加したことがありますか。(1つに○)

全体では、「参加したことがある」が46.0%、「訓練が行われていることは知っていたが、参加したことはない」が30.2%、「訓練が行われていることを知らなかった」が23.0%となっています。

年齢別では「参加したことがある」は、年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、60歳代以上では65.6%となっています。

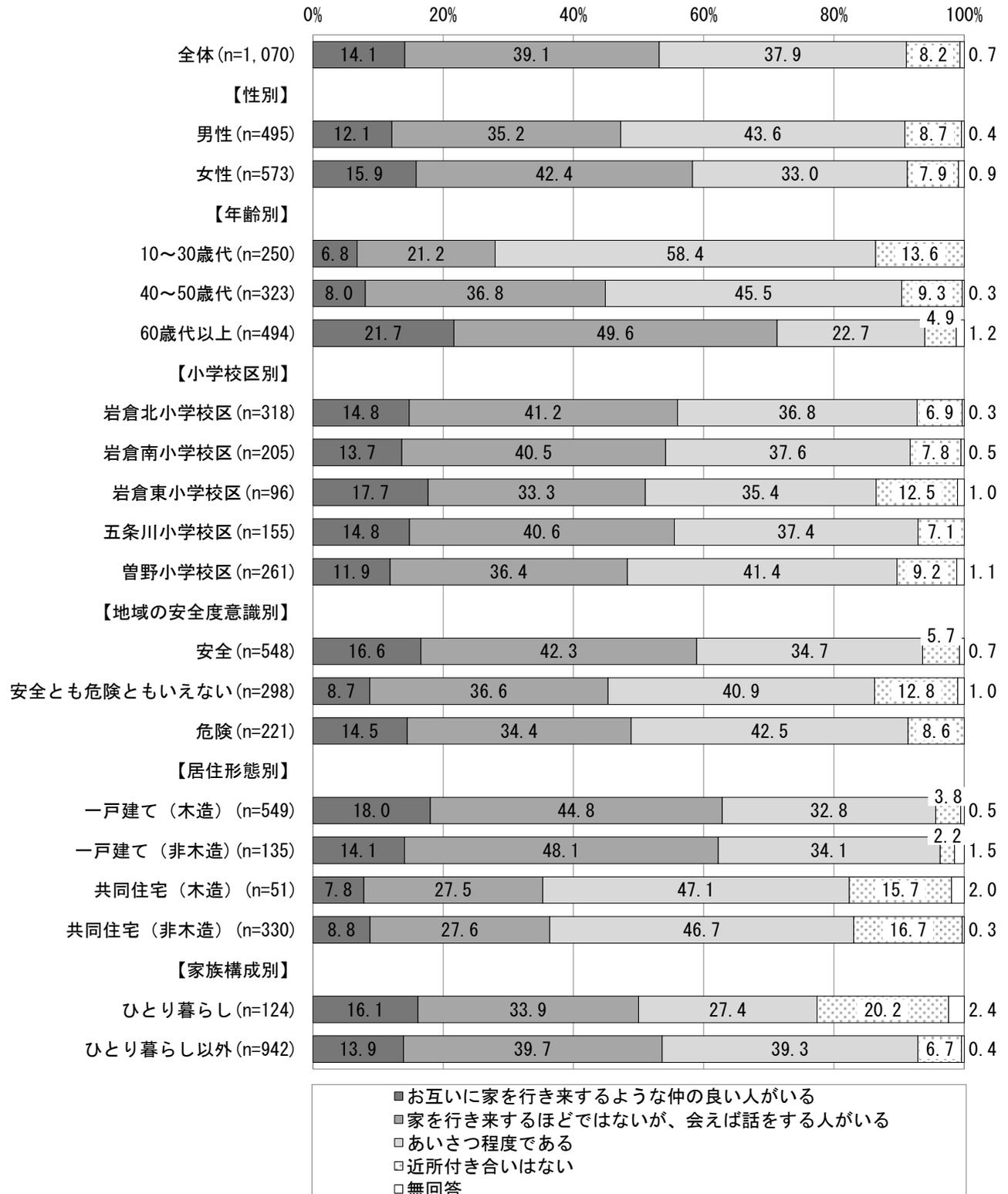
居住形態別では、一戸建て（木造）と一戸建て（非木造）で「参加したことがある」がそれぞれ半数以上と高くなっています。



問 27 隣近所とのお付き合いについて当てはまるものをお答えください（1つに○）

全体では、「家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる」が39.1%と最も高く、「あいさつ程度である」が37.9%、「お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる」が14.1%、「近所付き合いはない」が8.2%と続いています。

年齢別では、60歳代以上で「お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる」が21.7%と高くなっています。



第 4 章 資料

アンケート調査票

防災に関する調査へのご協力をお願いいたします

日頃から、市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、市では、どんな自然災害が起こっても致命的な被害を負わない強さと、速やかに回復するしなやかさをもつために、“岩倉市地域強靱化計画”の策定を進めているところです。計画の策定にあたりまして、市民の皆様への防災に対する意識や考え方をうかがい、市の防災施策の貴重な資料とさせていただくため、アンケート調査を実施することといたしました。

調査の実施にあたりましては、令和2年9月1日現在で、18歳以上の市民の方の中から、2,000人の方々を住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。

なお、調査票は無記名で行い、ご記入いただきました内容は、すべて統計的に処理いたしますので、皆様個人のご回答内容や個人情報が特定されることは一切ございません。ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年9月吉日
岩倉市長 久保田桂朗

ご記入にあたってのお願い

- 1 封筒の宛名ご本人様に回答をお願いいたします。ご本人様が回答できない場合には、ご家族の方が代理で回答していただいても構いません。
- 2 調査票や封筒に氏名・住所を記入していただく必要はありません。
- 3 回答には、濃い鉛筆か、黒または青のボールペン・万年筆をご使用ください。
- 4 回答方法は、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
- 5 ご自分の意見に近い選択肢がない場合は「その他（ ）」の選択肢の番号を○で囲み、（ ）の中にその具体的な内容をご記入ください。
- 6 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印に従ってお進みください。

すべての記入が終わりましたら、お忙しいところ恐縮ですが、

令和2年9月30日（水）までに

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、投函してください。

1 あなたのことについてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区をお答えください。(1つに○)

1 岩倉北小学校区	2 岩倉南小学校区	3 岩倉東小学校区
4 五条川小学校区	5 曾野小学校区	

●小学校区(※小学校区が分からない方は、下表で番号を確かめてください。)

お住まいの住所		学校区	お住まいの住所		学校区	
あ行	旭町	2	た行	大山寺町	5	
	石仏町	岩塚・五山寺・たりの一部(14~52番地)		1	大山寺本町	5
		上記以外		4	大山寺元町	5
	泉町	1		大市場町	5	
	稲荷町	大摩、細畑、樋先、高畑、半田の一部(新堀用排水路より西側)		2	大地新町	2
		上記以外		5	大地町	2
	井上町	4		中央町	2	
か行	神野町	4	な行	中野町	1	
	川井町	2		中本町	南葭原、東葭原、南加路桶、葭原の一部(5番地以上)	3
	北島町	2			上記以外	1
	五条町	5		野寄町	2	
さ行	西市町	1	は行	東新町	3	
	栄町	1		東町	仙奈・掛目	3
	下本町	西沼			2	上記以外
		昭和町	燈明庵	3	本町	一丁田
	上記以外		5	上記以外		1
	新柳町	1・2丁目(行政区:下本町)	2	ま行	南新町	2
		3丁目(行政区:稲荷町)	5		宮前町	1
	鈴井町	1	や行	八剣町	脇之本	3
	曾野町	5			上記以外	4

問2 性別をお答えください。(どちらかに○)

1 男性	2 女性
------	------

問3 年齢をお答えください。(令和2年9月1日現在の年齢で回答ください。)

1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代
4 40歳代	5 50歳代	6 60歳代
7 70歳代以上		

問4 職業をお答えください。(1つに○)

1 会社員、団体職員、公務員	2 自営業
3 農業	4 学生
5 家事専業	6 パート・アルバイト
7 無職	8 その他 ()

問5 お住まいの地域に自主防災会があることを知っていますか。(どちらかに○)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問6 あなたのお住まいは、次のように分類した場合どれでしょうか。(1つに○)

1 一戸建て(木造)	2 一戸建て(非木造 ^{*1})
3 共同住宅(木造)	4 共同住宅(非木造 ^{*1})

※1 非木造(ブロック造りや鉄骨・鉄筋コンクリート造り、れんが造り、石造りのもの)

問7 あなたの(同居している)家族構成をお答えください。(1つに○)

1 ひとり暮らし	2 夫婦のみ
3 親と子	4 親と子と孫
5 その他 ()	

2 強靱な地域をつくるための方策についてうかがいます。

問8 現在、国、県、市などが「国土強靱化」を進めていることを知っていますか。(1つに○)

1 内容を知っている	2 言葉を聞いたことはある
3 知らない	

問9 お住まいの地域が災害に対し安全だと感じていますか。それとも危険だと感じていますか。(1つに○)

1 安全	2 ある程度安全
3 安全とも危険ともいえない	4 多少危険
5 危険	

問10 あなたにとって、今後起こりうる大規模自然災害として、脅威に感じる災害を2つまで選んでお答えください。市域では発生の頻度が低い災害を含んでいます。

1 地震・津波	2 豪雨・台風(洪水・高潮等)	3 土砂災害
4 大雪	5 火山噴火	6 異常渇水
7 その他 ()		

問 11 大規模自然災害に事前に備えるべき目標として、優先度が高いと思う目標を2つ選んでお答えください。(2つに○)

- | | |
|---|--|
| 1 | 災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られること |
| 2 | 災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われること |
| 3 | 災害発生直後から必要不可欠な行政機能を確保すること |
| 4 | 災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能を確保すること |
| 5 | 災害発生後であっても、経済活動を機能不全に陥らせないこと |
| 6 | 災害発生後であっても、生活・事業活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図ること |
| 7 | 制御不能な二次災害を発生させないこと |
| 8 | 災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備すること |
| 9 | その他 () |

問 12 大規模自然災害に対する対策として、優先度が高いと思う対策を3つまで選んでお答えください。(3つまでに○)

- | | |
|----|--|
| 1 | 個人住宅の耐震化 |
| 2 | 公共施設や不特定多数が集まる施設の耐震化 |
| 3 | 交通の分断・途絶のない道路等インフラの耐災害性強化と交通網の多重化・ネットワークの強化による交通機能強化 |
| 4 | 情報提供・情報収集機能の多様化・迅速化 |
| 5 | 必要な物資の供給の迅速化 |
| 6 | 主要道路の通行遮断による市域を孤立化させない対応の強化 |
| 7 | 医療機関の防災力の強化 |
| 8 | 行政機関の防災力の強化 |
| 9 | 食料等の供給の確保 |
| 10 | 上下水道の防災力の強化 |
| 11 | 自然環境の保全・再生 |
| 12 | 災害廃棄物の処理の迅速化 |
| 13 | 地域コミュニティ(自主防災組織等)の防災力の強化 |
| 14 | 小・中学校教育などでの防災教育の実施 |
| 15 | 市主催イベントや広報誌を用いての防災啓蒙活動の実施 |
| 16 | その他 () |

問 13 市内の基幹的な交通ネットワークのうち、大規模自然災害により途絶した場合、影響が大きいと思う主要な交通を2つ選んでお答えください。(2つに○)

- | | | | |
|---|------------------|---|-------------|
| 1 | 国道155号 | 2 | 県道25号春日井一宮線 |
| 3 | 県道63号名古屋江南線(名草線) | 4 | 名鉄犬山線 |
| 5 | 高速道路(名神高速道路) | 6 | その他 () |

問 14 各ライフラインのうち、大規模自然災害により機能不全となった場合、影響が大きいと思うものを2つまで選んでお答えください。(2つまでに○)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 上水道 | 2 下水道 |
| 3 電気 | 4 ガス |
| 5 固定電話 | 6 携帯電話・スマートフォン |
| 7 インターネット回線 | 8 その他() |

3 災害や災害時の行動についてうかがいます。

問 15 岩倉市が国の指定する南海トラフ巨大地震（東海地震含む）の防災対策推進地域（著しい地震災害が生ずるおそれがある地域）に含まれていることを知っていますか。(どちらかに○)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 16 今までに自主的に避難所へ避難したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|------|
| 1 避難したことがある | 2 ない |
|-------------|------|

問 16 で「2 ない」と回答した方のみお答えください

→ 問 16-1 それはなぜですか。該当するものをすべてお答えください。

- | |
|--|
| 1 自宅にいるのが安全と判断したから |
| 2 人からの声掛けがなかった ・ 近隣住民が避難していなかったから |
| 3 被害に遭うと思わなかった ・ 被害にあったことがないから |
| 4 避難するのに課題・支障（大雨等で道中が危険、要援護者（自身又は家族）、避難所が遠いなど）があったから |
| 5 その他() |

問 17 大地震が起こった場合、心配することとして該当するものをすべてお答えください。(すべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1 土砂崩れ、がけ崩れ | 2 地割れ、陥没 |
| 3 液状化現象 | 4 火災の発生 |
| 5 ガス等の危険物の爆発 | 6 建物の倒壊・損壊 |
| 7 タンス等の家具類の転倒 | 8 外出先・勤務先から帰宅することができなくなる |
| 9 家族の安否の確認ができなくなる | 10 企業の生産活動の停止 |
| 11 治安の悪化 | 12 食料・飲料水、燃料、日用品等の確保が困難になる |
| 13 電気、水道、ガスの供給停止 | 14 避難所生活 |
| 15 その他() | 16 心配なことはない |

4 災害に関する情報のあり方についてうかがいます。

問 18 災害情報の入手先として利用しているものはどれですか。利用する機会が多いもの2つ選んでお答えください。(2つに○)

- 1 テレビ
- 2 ラジオ
- 3 防災行政無線
- 4 市の登録制メール(ほっと情報メール)
- 5 市のホームページ
- 6 その他のホームページ(具体的に)
- 7 スマートフォンの防災情報に関するアプリ
- 8 ツイッター、フェイスブック等のSNS
- 9 友人・知人からのメール
- 10 その他()

問 19 災害発生時に欲しいと思う情報を3つ選んでお答えください。(3つに○)

- 1 道路交通等の情報や今後の復旧見通し
- 2 電気・水道等のライフラインの情報
- 3 公共交通機関の運行情報や復旧の見通し
- 4 医療機関の情報
- 5 スーパーマーケット等の営業情報(商品の入荷情報を含む)
- 6 学校の休校等の情報
- 7 ゴミ収集の情報
- 8 損壊した家屋、生活に関する支援(各種制度の案内や適用など)
- 9 ボランティアの派遣や募集に関する情報
- 10 各種の相談窓口(連絡先含む)に関する情報
- 11 その他()

問 20 お住まいの地域のハザードマップを知っていますか。見たことはありますか。

(1つに○)

- 1 見たことがあり、内容も知っている
- 2 見たことはあるが、内容はよく分からない
- 3 あることは知っているが見たことはない
- 4 知らない

5 各家庭の状況についてうかがいます。

問 21 災害に備えて、食料・飲料水など備蓄として準備しているものをすべてお答えください。(すべてに○)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 飲料水 | 2 缶詰 |
| 3 レトルト食品 | 4 ビスケット・クラッカー |
| 5 乳幼児用ミルク | 6 離乳食 |
| 7 その他 () | |

問 22 災害に備えて、防災グッズ(食料品以外の生活必需品)の備蓄として準備しているものをすべてお答えください。(すべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1 携帯ラジオ |
| 2 懐中電灯 |
| 3 ヘルメット・防災ずきん |
| 4 救急セット(マスク、消毒薬、ガーゼ、包帯、常備薬等) |
| 5 携帯用トイレ |
| 6 紙おむつ |
| 7 乾電池・充電器(太陽光) |
| 8 毛布・寝袋 衣類 |
| 9 準備していない |
| 10 その他 () |

問 23 あなたは、外出中の被災に備えていつも身につけているもの、準備しているものをすべてお答えください。(すべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 身元や血液型、連絡先等を記したカード |
| 2 かかりつけの病院の診察券や病名・処方薬を書いたメモ |
| 3 状況を把握するためのポケットラジオ、メモ帳、筆記具 |
| 4 ライト付きキーホルダーや笛 |
| 5 ペットボトルの水やチョコレート |
| 6 マスクやハンカチ |
| 7 会社で配付された防災手帳や緊急連絡網など |
| 8 臓器提供意思表示カード |
| 9 その他 () |
| 10 特になし |

問 24 あなたやご家族は、自宅以外の場所へ避難しなければならない事態に備えてどのような対策をとっていますか。(すべてに○)

- 1 避難場所の位置を確認している
- 2 実際に避難場所まで行き、避難経路も確認している
- 3 家族との連絡方法を決めている
- 4 家族が落ち合う場所を決めている
- 5 特に何もしていない
- 6 その他 ()

問 25 災害ボランティア活動に参加したことはありますか。(1つに○)

- 1 参加したことがある
- 2 参加したことはないが、機会があれば参加したい
- 3 参加したことはない(参加の希望もない)

問 26 今までに市や地域で行う防災訓練に参加したことがありますか。(1つに○)

- 1 参加したことがある
- 2 訓練が行われていることは知っていたが、参加したことはない
- 3 訓練が行われていることを知らなかった

問 27 隣近所との付き合いについて当てはまるものをお答えください(1つに○)

- 1 お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる
- 2 家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる
- 3 あいさつ程度である
- 4 近所付き合いはない

～アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。～

【お問い合わせについて】

岩倉市役所 総務部 協働安全課 防災安全グループ

T E L : 0587-38-5831 (直通)

M a i l : kyoudou@city.iwakura.lg.jp

防災に関するアンケート調査報告書

発行日／令和2年11月

発行／岩倉市

編集／岩倉市役所 総務部 協働安全課 防災安全グループ

〒482-8686 愛知県岩倉市栄町一丁目66番地

0587-38-5831 (直通)

* 禁無断転載・複製

©岩倉市
